

9 資料

2016(平成28年度) 稲小らんらんスクール参加者統計

	登録人数	6月			7月			8月			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数	学年別延人数	教室種別人数	備考
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3					
昔あそび	1年	13	11	11						8	11	11	11		11	11		85		7/4 3~6年生はプール学習	
	2年	13	11	9						11	11	7	10		10	8		77		10/3 5年生は宿泊学習の振替日の為休み	
	3年	7	4	0						6	5	2	3		4	4		28			
	4年																				
	5年	5	2	0						5		5	4		5	4		25			
	6年																				
	計	38	28	20						30	27	25	28		30	27		215	215		
自由画	1年	9	8	9						8	9	9	9	8	8		68				
	2年	17	15	14						15	14	13	13	9	11		104				
	3年	6	3	6						6	5	5	5	3	4		37				
	4年	2	1	1						0	0	0	0	0	0		2				
	5年	15	13	13						14	13	11	12	12	12		100				
	6年																				
	計	49	40	43						43	41	38	39	32	35		311	311			
絵本の読み聞かせ	1年	7	7	6						5	6	5	6	5		4	44		2017/2/20 暴風警報発令のため、一斉下校		
	2年	11	9	6						6	3	3	4	6		6	43		らんらんスクールは実施しなかった		
	3年	5	3	4						4	3	4	3	2		3	26				
	4年																0				
	5年	3	3	2						2	2	2	2	3		2	18				
	6年																				
	計	26	22	18						17	14	14	15	16	0	15	131	131			
2グラであそぼ	1年	9	6	5						5	3	4	5	4	3	4	39				
	2年	5	4	0						3	4	1	1	3	3	2	21				
	3年	13	13	8						9	8	8	8	11	9	6	80				
	4年	3	1	2						1	0	1	0	1	0	0	6				
	5年	11	10	10						6	11	9	9	9	11	8	83				
	6年																0				
	計	41	34	25						24	26	23	23	28	26	20	229	229			
音楽であそぼ	1年	5	5	4							4	4	6	5	5	4	37		7/6 3年生 研究授業の為、不参加		
	2年	8	7	5						5	5	1	3	3	0	4	33		9/7 1年生 研究授業の為、不参加		
	3年	4	4	0						3	3	2	3	2	2	3	22		2/1 2年生 学年閉鎖の為、不参加		
	4年																0				
	5年	7	7	5						5	7	4	5	6	6	5	50				
	6年																0				
	計	24	23	14						13	19	11	17	16	13	16	142	142			
理科教室								8/1	8/3	8/5											
	1年	13						10	11	10							31				
	2年	11						7	7	5							19				
	3年	12						8	8	10							26				
	4年	6						5	4	3							12				
	5年	13						12	11	11							34				
	6年																				
計	55						42	41	39							122	122				
紙芝居教室								8/18	8/25												
	1年	1						0	1								1				
	2年	4						3	3								6				
	3年	2						1	2								3				
	4年																				
	5年	4						4	4								8				
	6年																				
計	11						8	10								18	18				
宝物をつくろう								8/8	8/16												
	1年	6						4	3								7				
	2年	8						3	3								6				
	3年	6						3	1								4				
	4年							0	0								0				
	5年	5						4	3								7				
	6年																				
計	25						14	10								24	24				
																				1192	

* 年度当初の予定51回

今小おもしろクラブ出席表

平成28年度

実施日	6月8日(水)		6月18日(土)	7月6日(水)			7月9日(土)	
時間	13:30	13:30	10:00	13:30	13:30	13:30	9:10	10:40
講座名	プレサイエンス	カルチャー	アウトドア	ハンドメイド	サイエンス	水曜囲碁	土曜囲碁	アート
対象学年	1~2年	1~6年	1~6年	1~2年	3~6年	1~6年	1~6年	1~6年
場所	多目的室	和室		多目的室	体育館	和室	多目的室	多目的室
1年生	12		1	11		3	2	5
2年生	15		5	15		3	4	8
3年生		8	2		5	5	2	6
4年生		6	4		10	4	3	6
5年生		1	1		2			
6年生		1			3	1	2	1
合計	27	16	13	26	20	16	13	26

実施日	7月23日(土)		8月29日(月)		8月30日(火)	9月3日(土)	
時間	9:10	10:40	9:10	10:40	10:40	9:10	10:40
講座名	プレサイエンス	カルチャー	カルチャー	サイエンス	サイエンス	土曜囲碁	アート
対象学年	1~2年	1~6年	1~6年	3~6年	3~6年	1~6年	1~6年
場所	多目的室	多目的室	多目的室	多目的室	多目的室	多目的室	多目的室
1年生	6		0			2	4
2年生	9		1			4	9
3年生		6	3	4	6	2	5
4年生		5	3	6	11	3	9
5年生		0	0	2	2		
6年生		1	1	3	3	2	1
合計	15	12	8	15	22	13	28

実施日	9月7日(水)			10月12日(水)		10月15日(土)	11月9日(水)		
時間	13:30	13:30	13:30	13:30	13:30	10:00	13:30	13:30	13:30
講座名	ハンドメイド	サイエンス	水曜囲碁	プレサイエンス	カルチャー	アウトドア	ハンドメイド	サイエンス	水曜囲碁
対象学年	1~2年	3~6年	1~6年	1~2年	1~6年	1~6年	1~2年	3~6年	1~6年
場所	多目的室	体育館	和室	多目的室	和室		多目的室	体育館	和室
1年生	10		2	10	1	0	10		3
2年生	15		3	16		2	14		3
3年生		7	5		4	2		6	5
4年生		10	3		5	3		9	3
5年生		0	0		1	1		0	
6年生		3	1		1			2	1
合計	25	20	14	26	12	8	24	17	15

事業No.1 放課後子ども教室運営事業

実施日	11月26日(土)		12月1日(木)		12月3日(土)	1月11日(水)		
時間	9:10	10:40	13:30	13:30	10:00	13:30	13:30	13:30
講座名	土曜囲碁	アート	プレサイエンス	カルチャー	アウトドア	ハンドメイド	サイエンス	水曜囲碁
対象学年	1～6年	1～6年	1～2年	1～6年	1～6年	1～2年	3～6年	1～6年
場所	多目的室	多目的室	多目的室	和室		体育館	多目的室	和室
1年生	2	5	10	0	2	8		2
2年生	3	7	16		1	16		3
3年生	2	5		8	2		7	4
4年生	5	8		5	4		10	2
5年生				1	0		1	
6年生	2	1		1			2	1
合計	14	26	26	15	9	24	20	12

実施日	1月28日(土)		2月15日(水)		2月25日(土)	3月1日(水)	
時間	9:10	10:40	13:30	13:30	10:00	13:30	13:30
講座名	土曜囲碁	アート	プレサイエンス	カルチャー	アウトドア	ハンドメイド	サイエンス
対象学年	1～6年	1～6年	1～2年	1～6年	1～6年	1～2年	3～6年
場所	多目的室	多目的室	多目的室	和室		体育館	多目的室
1年生	1	3	7	0	0	9	
2年生	4	8	15		4	14	
3年生	1	4		5	2		6
4年生	3	6		5	3		10
5年生				1	1		1
6年生	1	0		1			2
合計	10	21	22	12	10	23	19

実施日	3月1日(水)	3月11日(土)	
時間	13:30	9:10	10:40
講座名	水曜囲碁	土曜囲碁	アート
対象学年	1～6年	1～6年	1～6年
場所	和室	多目的室	多目的室
1年生	2	2	4
2年生	2	3	7
3年生	3	1	5
4年生	2	2	7
5年生			
6年生	1	1	1
合計	10	9	24

合計
139
229
138
175
15
41
737

平成28年度 なのの学習教室 出席統計

	7/25午前	7/25午後	7/26午前	8/30午前	8/30午後	合計
1年	4	1	0	2	1	8
2年	5	1	5	0	2	13
3年	5	2	5	4	2	18
4年	0	1	0	0	0	1
5年	4	1	2	0	0	7
6年	3	0	3	0	0	6
合計	21	6	15	6	5	53

平成28年度放課後子ども教室アンケート結果のまとめ

平成28年度放課後子ども教室を実施した稲村ケ崎小学校、今泉小学校において、アンケートを実施しました。2校ともに共通する質問項目を設定し、比較検討の材料にもすることとしました。主な概要は、次のとおりです。

保護者

- ・稲小 配布数 81 回答数 56 回答率 69.1%
- ・今小 配布数 81 回答数 64 回答率 79.0%

○参加については、昨年同様に、2校ともに「本人が決めた」が最も多く、子どもたちの関心の高さが伺える。

○参加してよかったかについては、ほとんどの保護者が参加させてよかったと回答している。

○参加してよかった点は、「低学年の児童や地域の大人との関わりができた」と回答した人が多く、「放課後に行われる活動に望むことはなんですか」の設問には、「交友関係」「地域交流」と回答が高く、双方からコミュニケーションを重要視する保護者の希望が伺える。

○欠席したときの連絡方法については、無断で休んだときの事務局からの連絡は必要と半数が回答した。若干稲村ケ崎小学校が、必要ないと回答する割合が高い。

○緊急の連絡方法について、ツイッターを見る環境があるかとの設問では、約半数が見られる状態にあるが、ツイッターだけでなく、今後、他の連絡方法を検討していくことが望ましいと思われる。

○保護者の不安としては、今小では、学区が広いことなどの影響もあり、ひとりで帰宅することや、子供の帰宅時間など安全についての意見が特に多い。

子ども

- ・稲小 配布数 95 回答数 65 回答率 68.4%
- ・今小 配布数 93 回答数 75 回答率 80.6%

○参加してよかったかについては、2校とも97%以上の児童がよかったと答えており、満足した内容であったと思われる。

○今泉小学校では、参加してみても興味があることが増えたと答えた割合が高く、児童が普段活動すること以外の体験の場が提供できたと推考される。

○教室のある日を忘れないようにするためには、多くの児童が親からの声かけに頼っており、今後も保護者に周知する方法を継続していく必要がある。

○今後の内容については、稲村ケ崎小学校では「理科の実験」「スポーツ」が高く、今泉小学校では、いろいろな分野を均等して行ってほしいとの回答がある結果となっている。

平成28年度 生涯学習推進事業の概要

●生涯学習関連講座・イベントの実施

市民との協働による生涯学習の推進を図るため、市民ボランティア団体である「鎌倉市生涯学習推進委員会」に各種イベントや講座を委託し、5つの学習センターで実施しました。

分野別の事業数と延べ参加延人数は次のとおりです。

・情報社会セミナー（IT講習会他）	17講座	201名
・国際社会セミナー（外国語・国際理解講座他）	58講座	1,324名
・市民・成人セミナー（歴史・文学・手芸講座他）	158講座	3,924名
・青少年セミナー（リトミック・夏休み教室他）	26講座	783名
・文化芸術イベント（映画会・講演会他）	26事業	2,994名
	(総計 285件	9,226名)

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
講座等開催数	290件	290件	285件
参加者満足度	91.4%	89.0%	89.0%

参加者満足度は、講座の参加者対象のアンケート結果のうち「大満足及び満足」と回答した人の割合

●生涯学習情報誌「鎌倉萌」編集作成

市内及び近隣市で開催される民間主催事業も含む生涯学習関連事業の情報収集を行い、それらの情報を掲載した情報誌を毎月8千部発行し、公共施設などで市民に配布しました。

●生涯学習フェスティバル開催

鎌倉及び4地域の学習センターにおいて、日頃から学習センターで活動している市民団体の活動の発表を行う生涯学習フェスティバルを開催しました。開催方法は、活動団体の代表者で組織されたフェスティバル実行委員会を設置し、市民主体で市と協働で開催しました。

●大学等公開講座事業

鎌倉女子大学に事業委託し、「暮らしの安全を守るために」というテーマで、3回の講座を実施しました。参加者は83名（定員200名）でした。

●生涯学習ガイドブック作成

市内で予定される市及び県主催の生涯学習関連事業の情報、生涯学習登録指導者情報、市内で活動している各種サークル情報、生涯学習施設情報等を掲載した「生涯学習ガイドブック」を編集・印刷（100部）し、各生涯学習センターや公共施設で市民に配布するとともに、ホームページに掲載しました。

事業 No. 3 小学校施設整備事業

事業 No. 4 小学校防災対策事業

事業 No. 5 中学校施設整備事業

1 平成 28 年度工事の状況について

工事名	完了年月日	執行額
植木小学校 特別支援学級教室改修工事	29. 3. 29	29, 797, 200 円
小坂小学校 トイレ改修工事 (第 1 期)	28. 12. 16	83, 743, 200 円 (機械設備工事を含む)
関谷小学校 校舎外壁 (南東面) 改修工事	29. 3. 10	38, 458, 800 円
深沢小学校 給食棟耐震改修工事	28. 12. 2	12, 711, 600 円
玉縄小学校・今泉小学校 給食棟耐震改修工事	28. 11. 29	17, 496, 000 円
玉縄中学校 屋外非常階段改修工事	28. 10. 7	31, 806, 000 円
御成中学校 冷暖房設備設置工事	28. 11. 7	49, 680, 000 円
腰越中学校 冷暖房設備設置工事	28. 11. 8	33, 480, 000 円
深沢中学校 冷暖房設備設置工事	28. 11. 14	50, 179, 717 円
手広中学校 冷暖房設備設置工事	28. 11. 14	36, 601, 200 円
玉縄中学校 冷暖房設備設置工事	28. 11. 14	58, 622, 400 円
岩瀬中学校 冷暖房設備設置工事	28. 11. 2	51, 624, 000 円
腰越中学校・深沢中学校 給食受入室改修工事	28. 12. 15	34, 668, 000 円
第一中学校・第二中学校 給食受入室改修工事	29. 3. 3	20, 304, 000 円
御成中学校・手広中学校 給食受入室改修工事	28. 7. 28	27、28 年度継続費設定 全契約額 38, 232, 000 円 (28 年度執行額 22, 939, 200 円)

工事名	完了年月日	執行額
玉縄中学校・岩瀬中学校 給食受入室改修工事	28. 8. 29	27、28 年度継続費設定 全契約額 34, 236, 000 円 (28 年度執行額 34, 236, 000 円)
大船中学校 改築工事	28. 7. 13	26 年度～28 年度継続費設定 全契約額 3, 689, 679, 600 円 (28 年度執行額 1, 791, 259, 600 円)
大船中学校 校庭整備工事	30. 3. 22 (予定)	28、29 年度継続費設定 全契約額 395, 971, 200 円 (28 年度執行額 50, 000, 000 円)

2 小中学校普通教室冷房設備設置について

小学校名	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
御成中学校 腰越中学校 深沢中学校 手広中学校 玉縄中学校 岩瀬中学校	工事設計	設置工事			
第一中学校 第二中学校 第一小学校 御成小学校 稲村ヶ崎小学校 深沢小学校	—	工事設計	設置工事	—	—
第二小学校 西鎌倉小学校 山崎小学校 小坂小学校 玉縄小学校 大船小学校	—	—	工事設計	設置工事	—
七里ガ浜小学校 腰越小学校 富士塚小学校 植木小学校 関谷小学校 今泉小学校	—	—	—	工事設計	設置工事

防災対策への取組について

【事業の内容】

児童・生徒が安心して学習できる安全な教育環境を整備するため、小中学校施設の防災対策を行い、児童・生徒、教職員及び保護者等の安全確保を図る。

【小中学校施設の防災対策の進め方について】

施設改修が必要となる地震対策として、児童・生徒が普段利用している校舎や体育館の構造体に係る耐震補強を平成 22 年度までに完了しました。東日本大震災で発生した天井材や外壁材の落下など非構造部材の地震対策においても、平成 25 年度に実施計画に位置付け、平成 27 年度までに完了しました。平成 28 年度は耐震補強が必要な小学校 3 校の給食棟耐震補強を実施しました。今後、第二中学校体育館特定天井改修を平成 29 年度に設計、30 年度に工事を実施する予定です。

【平成 28 年度までの取組内容と施設の状況】

学校名	構造体に係る耐震改修 対応状況	体育館照明等非構造 部材耐震対応状況	津波時対応と 施設整備状況
第一小学校	平成 22 年度耐震工事	耐震改修で対応済	屋上避難時の転落防止柵を設置
第二小学校	平成 15 年度耐震工事	平成 26 年度照明交換	範囲外
御成小学校	耐震補強不要校	平成 26 年度照明交換	源氏山公園へ避難
稲村ヶ崎小学校	耐震補強不要校	平成 27 年度照明交換	範囲外
七里ヶ浜小学校	平成 22 年度耐震工事	耐震改修で対応済	範囲外
腰越小学校	平成 22 年度耐震工事	耐震改修で対応済	範囲外
西鎌倉小学校	平成 22 年度耐震工事	平成 25 年度天井隙間確保	範囲外
深沢小学校	平成 20 年度耐震工事 平成 28 年度給食棟耐震工事	平成 26 年度照明交換	範囲外
富士塚小学校	平成 21 年度耐震工事	耐震改修で対応済	範囲外
山崎小学校	平成 22 年度耐震工事	耐震改修で対応済	範囲外
小坂小学校	耐震補強不要校	平成 26 年度照明交換	範囲外
玉縄小学校	平成 20 年度耐震工事 平成 28 年度給食棟耐震工事	平成 27 年度照明交換	範囲外
植木小学校	耐震補強不要校	平成 27 年度照明交換	範囲外
関谷小学校	平成 22 年度耐震工事	耐震改修で対応済	範囲外

大船小学校	平成 19 年度耐震工事	平成 25 年度照明交換等	範囲外
今泉小学校	平成 22 年度耐震工事 平成 28 年度給食棟耐震工事	耐震改修で対応済	範囲外
第一中学校	耐震補強不要校	平成 26 年度照明交換	範囲外
第二中学校	平成 22 年改築	平成 22 年改築	範囲外
御成中学校	平成 21 年度耐震工事	耐震改修で対応済	範囲外
腰越中学校	耐震補強不要校	平成 27 年度照明交換	諏訪ガ谷青少年広場へ避難
深沢中学校	平成 21 年度耐震工事	平成 26 年度落下防止ワイヤ	範囲外
手広中学校	耐震補強不要校	平成 27 年度照明交換	範囲外
大船中学校	平成 26 年～28 年改築	平成 26 年～28 年改築	範囲外
玉縄中学校	平成 21 年度耐震工事	平成 27 年度照明交換	範囲外
岩瀬中学校	平成 22 年度耐震工事	平成 26 年度照明交換	範囲外

※表内には、第 3 期基本計画前期実施計画（平成 26～28 年度）以前の取組内容も全体把握のため記載してあります。

※平成 28 年度の取組内容は網掛部分です。

※施設改修以外の対策として、学校毎に防災マニュアルを作成しています。

中学校給食実施に関するスケジュール

平成29年6月1日現在

年	月	保護者・生徒			教職員	その他
		給食利用関係	中学校給食ニュース	献立表の配布 (前々月下旬)		
平成29年	4	4/24 利用申請書類の配布	4/10 第1号 4/24 第2号			
	5	5/19 利用申請書の受付締切	5/24 第3号			
	6		6/23 第4号		運用マニュアルの 配付 ↓ 各校で説明会	教育委員会6月定例会で「中学校給食実施要綱の制定について」報告
	7		7/18 第5号	7/20 試食会		調理場竣工
	8	8/18～8/31 各校で利用説明会・試食会を実施				
	9	9/1 各家庭に認証情報 通知書送付 9/6 給食費引落とし開始	9/13 第6号	11月分		広報かまくら9/1号で特集 9/19～25 鎌倉駅地下道でPR展示
	10	10/1 予約開始	10/2 第7号	12月分		工場見学会(予定)
	11	給食開始	11/1 最終号	1月分		
	12			2月分		小学校6年生の保護者に 利用申請書配付
平成30年	1			3月分		新入生説明会で利用申請書の受付
	2			4月分		↑ ↓
	3	3年生に返金		5月分		
	4			6月分		

鎌倉市における特別支援学級設置の基本方針

平成23年度11月制定

平成28年8月改定

1 基本方針

本市の市立小・中学校全校に特別支援学級（知的障害、自閉症・情緒障害）を設置していく。

2 検討経過

これまで、本市の特別支援学級は、拠点校方式として設置されており、現在、小学校9校（16校中）・中学校7校（9校中）に設置してきた。

この拠点校方式は、地域の中で子どもを育てることを基本としながら、社会性・自立性を身に付けていくために、一定の集団での教育も必要であるとの考え方によるものである。

しかしながら、近年、障害のある子どもが増加しており、その子どもたちや保護者が地域の学校へ通うことを希望する傾向が強くなってきた。このことから、特別支援学級設置の考え方の見直しが必要となった。

また、平成22年市議会9月定例会において、特別支援学級の全校設置が議員提案で可決された。

これらのことを踏まえ、本市の特別支援学級設置の基本方針を新たに定めることになった。

さらに、通常学級において、発達に課題のある子どもが増加しており、ソーシャルスキルトレーニング等を行うための情緒通級指導教室を平成28年度今泉小学校に開設した。また、今後については、特別支援学級の順次開設ならびに新たな情緒通級指導教室の開設も検討する。

3 設置計画について

- (1) 地域、学区等を考慮し、小学校を5ブロック、中学校を4ブロックに分ける。
- (2) 開設校、開設年度については、就学希望状況や学校施設状況等を考慮し決定していく。
- (3) 新たに設置する特別支援学級の規模は、各学校の児童生徒数や教室数を勘案するとともに、ブロック内の学校の整備状況、整備規模を勘案し決定する。

① 小学校ブロック

ア 第一小 ・ 第二小 ・ 御成小 ・ 稲村ヶ崎小
 イ 腰越小 ・ 七里ガ浜小
 ウ 富士塚小 ・ 西鎌倉小 ・ 深沢小
 エ 玉縄小 ・ 植木小 (H29.4月開設予定) ・ 関谷小
 オ 小坂小 ・ 大船小 ・ 山崎小 ・ 今泉小

② 中学校ブロック

ア 御成中 ・ 第一中 ・ 第二中
 イ 深沢中 ・ 腰越中 ・ 手広中
 ウ 玉縄中
 エ 大船中 ・ 岩瀬中 ○○○ : 設置済校

- (4) 開設後に、在籍児童生徒がいなくなった場合は一時閉級扱いとし、対象児童生徒が希望した場合に開級する。

4 就学先の決定について

- (1) 特別支援学級入級については、教育委員会が、対象児童生徒の教育的ニーズの把握に努め、保護者及び障害のある児童生徒等の就学に関する専門的知識を有する者（鎌倉市就学支援委員会）の意見を聴いたうえで決定する。
- (2) 学区内の学校に特別支援学級が設置されている場合は、当該学校に就学することを原則とする。
- (3) 学区内の学校に特別支援学級が設置されていない場合は、同一ブロック内の学校に就学する。
- (4) 児童生徒の障害の状態により、施設面等の理由から学区内または同一ブロック内の学校では対応できない場合（障害種別等の理由）は、就学相談において、児童生徒の教育的ニーズを把握し、児童生徒及び保護者の要望を聞きながら就学する学校を決定する。

鎌倉市の特別支援教育に関する考え方

平成 29 年 4 月
鎌倉市教育委員会

1 特別支援教育の推進について

障害のあるなしに関わらず子どもたちが社会で自立した生活を送るためには、共生社会の第一歩である地域での学びを大切に、日常的な交流や共同学習を通して、インクルーシブ教育を推進していきたいと考えます。子どもたちが互いの多様性を理解し、尊重しつつ、地域で共に学び、共に育つ環境づくりを目指しています。

平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されました。平成 24 年の 7 月の中教審特別委員会報告では、「共生社会の形成に向けて、障害者の権利に関する条約に基づくインクルーシブ教育システム（障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み）の理念が重要であり、その構築のため、特別支援教育を着実に進めていく必要がある。」としています。

神奈川県では、障害のあるなしにかかわらず、子どもたちの自立と社会参加に向けた「生きる力」の育成を目指し、「共に学び、共に育つ教育」と「一人ひとりの教育的ニーズに応える支援教育」を推進しています。

鎌倉市では、国や県の考え方を踏まえ、教育上特別の支援や配慮を必要とする児童生徒の自立や社会参加に向けた、主体的で連続性のある学びを支援する視点に立ち、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるため、個に応じた適切な指導や支援を行う特別支援教育を推進しています。

～小学校学習指導要領 第1章

第4の2（7）から抜粋～

障害のある児童などについては、特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ、例えば指導についての計画又は家庭や医療、福祉等の業務を行う関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成することなどにより、個々の児童の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。特に特別支援学級又は通級による指導については、教師間の連携に努め、効果的な指導を行うこと。

（中学校は、「中学校学習指導要領 第1章 第4の2（8）」において準用）

2 本人・保護者へのチームによる支援の充実

子どもたち一人ひとりの多様なニーズを把握し、適切な支援の内容や方法を考え対応していくことは担任一人ではとても難しいことです。そこで、教職員の特別支援教育に対する理解促進を含め、学校全体が一体となって取り組めるよう、「支援体制の構築」と「チームによる支援」を組織的・計画的に行う必要があります。

まずは、子ども本人や保護者の話を聴くところから、支援はスタートします。子どもを中心に置き、保護者をはじめ支援に関わる人たちが協働して、チームで子どもの支援にあたる体制づくりを進めることが大切です。各学校では、校内委員会を設置し、教育相談コーディネーターを中心に、関係者が共通理解を図りながら一人ひとりの支援や「合理的配慮」等について組織的に、その内容を検討・確認します。

また、必要に応じ、保護者の了解を得て関係機関と連携した支援をします。

3 子どもたちの教育的ニーズを把握する取組

子どもたちが学級で見せる様子だけでなく、子どもを取り巻く家庭環境や友人との関係、部活動等での人間関係、本人の発達面での課題や特性、悩みなど、その子を取り巻く環境や状況を把握・理解することが、適切な支援の始まりとなります。

一人ひとりの教育的ニーズを把握するためには、教職員研修における障害理解の推進、校内委員会での情報の共有による共通の認識が必要です。

併せて、子どもの実態をより客観的に把握するために、地域の支援センターである県立鎌倉養護学校や県立藤沢養護学校の地域支援担当や、県立総合教育相談センター等各相談機関、医療機関及び市長部局（こどもみらい部 発達支援室）、鎌倉市教育センター相談室等と必要に応じて連携を取ることが重要です。（原則、他機関との連携の際には、保護者の了解が必要になります。）

また、教育委員会では、校内委員会やケース会議等に鎌倉市特別支援教育巡回相談員を派遣し、子どもたちの実態から教育的ニーズを把握する取組等を支援します。

4 学校での支援内容

教育的配慮や指導の工夫が必要な子どもに対しては、子どもの状況に応じて、次のページに示すような合理的配慮など、理解の手助けとなるような支援が必要になります。

支援の必要な子どもには、どの場面でどのような支援が必要かを校内支援委員会等で話し合い、教育相談コーディネーター等が中心となって支援体制を整え、状況に応じて役割分担を行います。支援の内容は子どもの成長に合わせて、見直しや検討が必要になります。

具体的な支援の内容例

ケース1「集中や持続が苦手」である子どもには・・・

- ▶児童生徒の様子を把握しやすいように、教師に近い一列目や二列目の席にする。
- ▶転動性のある場合、窓の近くを避け、様々な情報が目に入らないような座席にする。
- ▶行動のモデルとなる児童生徒の側の座席にする。

ケース2「ことばのみでは、指示理解が十分でない」子どもには・・・

- ▶一斉指示の後、理解できているか様子を確認する。
- ▶一斉指示の後、子どもに寄り添って、もう一度ポイントを伝え、作業等を確認する。
- ▶手元で実際に手本を見せる。
- ▶作業手順等の板書やメモやカードなど、視覚的情報を一緒に提示する。

ケース3「授業や活動などで、初めてのことの理解や変更に必要な時間が必要」な子どもには・・・

- ▶家庭と連携し事前に変更を伝えたり、家で教科書を事前に読んだり等の手だてをする。
- ▶子ども本人に、事前に内容や時間等について説明しておく。
- ▶写真や絵カードを準備し、視覚的にも確認しやすいようにする。

ケース4「学習課題を時間内に仕上げられない」子どもには・・・

- ▶みんなと同じ課題でも量を少なく、区切って指示する。
- ▶課題に応じたヒントの工夫や、班活動など友達との共同学習などの指導の工夫をする。

ケース5「他の児童生徒とのトラブルが生じやすく、パニックになってしまう、感情が落ち着くまで時間がかかる」子どもには・・・

- ▶クールダウンする部屋を決めておき、気持ちが落ち着くまで見守ります。

5 学級介助員及び学級支援員等の派遣

子どもの実態に応じて、特別支援学級補助員、学級介助員、スクールアシスタントにより支援を行います。平成29年度は、日常生活面での支援を主な業務とする特別支援学級補助員1名、学級介助員35名、学習支援を主な業務とするスクールアシスタント16名を小学校全16校に派遣します。教育活動上の必要な場面に応じて派遣する学級支援員の配当時間は11,000時間を予定しています。

6 研修の充実

特別支援学校や市長部局等と連携し、障害等の理解・啓発や支援方法等の研修会を開催します。(特別支援教育研修会等)。また、学校での研修会には、鎌倉市特別支援巡回相談員を派遣し、助言等を行います。

教育相談コーディネーター連絡会は、特別支援教育に関する研修を主な内容として実施します。その際、各学校の取組状況に関する情報交換等も行います。

その他に、神奈川県発達障害支援センターをはじめとした関係機関が主催する研修会等について紹介します。

7 支援シートの取組

支援シートとは…

「支援シート」は、本人・保護者を中心に支援の必要な子どもに関係する人たちが、相談して支援内容などを記入し、次の学年や進路先に伝え、指導や支援に生かし、継続的な支援を図ることを目的として作成されるものです。

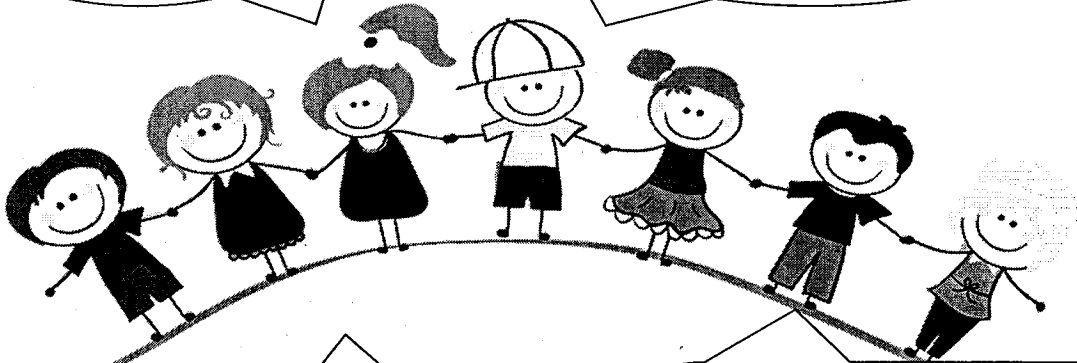
Q だれが作成するの？

A 本人・保護者と担任や教育相談コーディネーターが相談・協力して検討した内容を保護者が記入します。保護者の記入が困難な場合は、保護者の依頼により担任が代筆します。

Q どのような内容を記入するの？

A 具体的に記入しましょう。

- 1 学習面や生活面で本人ができるようになったこと。
- 2 効果があった取組や次の目標になりそうなこと。
- 3 まだできていないところ等、継続して支援が必要なこと。



Q どのように活用するの？

A 療育から小学校、小学校から中学校、中学校から高等学校、就労先等、次の進路先に保護者が提出することで、子どもの継続性に役立つものです。

Q シートの見直しは？

A 大きくは、3年に一度はシートの作成・評価・再計画を行います。しかし、子どもは日々成長しているので、毎年度始めや年度末の個人面談等を活用して、本人・保護者とともに見直しをし、確認するとよいでしょう。

Q シートの保管は？

A 原本は、本人・保護者が保存します。学校では、保護者の了解があれば、写しの1部を指導要録と一緒に保管します。

Q 廃棄は？

A 新しいシートを作成した場合や卒業、転出時には廃棄します。

平成28年度 教育センター相談室 利用状況 (年間)

表1

平成28年度 相談人数

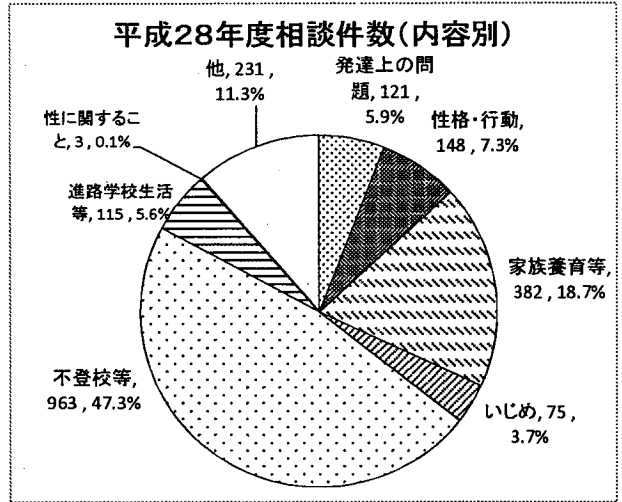
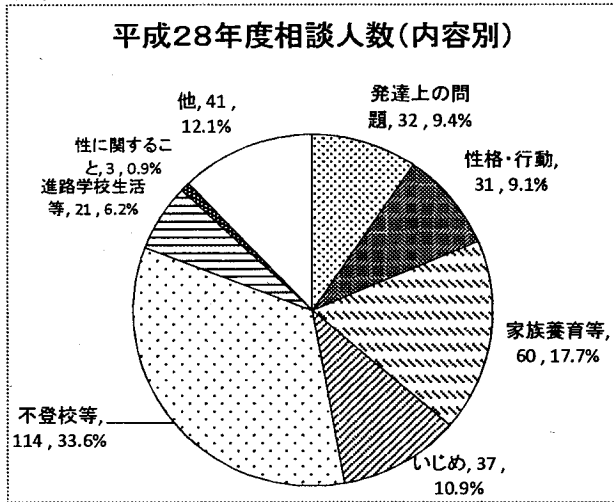
内容	学齢等	未就学	小学校	中学校	高校	有職者	無職者	他	合計
発達上の問題			21	9		1	1		32
性格・行動			24	1	4		1	1	31
家族養育等			41	17	1			1	60
いじめ		1	14	7	13	1		1	37
不登校等			44	62	5		1	2	114
進路学校生活等			10	8	3				21
性に関すること				1	2				3
他			13	15	8		2	3	41
合計		1	167	120	36	2	5	8	339

平成28年度 相談件数

内容	学齢等	未就学	小学校	中学校	高校	有職者	無職者	他	合計
発達上の問題			55	57		8	1		121
性格・行動			123	7	11		1	6	148
家族養育等			273	59	5			45	382
いじめ		1	52	7	13	1		1	75
不登校等			329	611	5		16	2	963
進路学校生活等			62	47	6				115
性に関すること				1	2				3
他			35	159	24		9	4	231
合計		1	929	948	66	9	27	58	2,038

相談方法: 電話 1,128件(55.3%) 来所 641件(31.5%) 訪問 218件(10.7%) その他51件(2.5%)

グラフ1



グラフ2

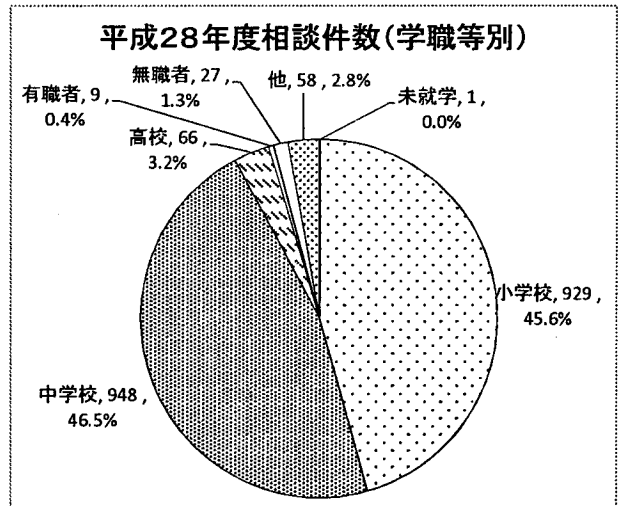
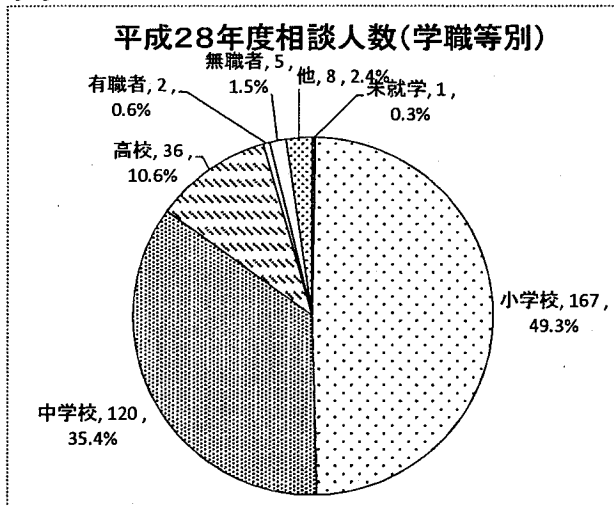


表2

内容別相談人数 年度別状況

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
発達上の課題	19	28	25	32
性格・行動	38	32	35	31
家族養育等	27	32	44	60
いじめ	39	17	15	37
不登校等	92	104	94	114
進路学校生活等	36	63	38	21
性に関すること	1		1	3
他	36	46	34	41
合計	288	322	286	339

内容別相談件数 年度別状況

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
発達上の課題	152	205	218	121
性格・行動	317	176	260	148
家族養育等	253	185	378	382
いじめ	151	53	61	75
不登校等	1,416	1,404	999	963
進路学校生活等	259	279	272	115
性に関すること	1		15	3
他	136	231	239	231
合計	2,685	2,533	2,442	2,038

グラフ3

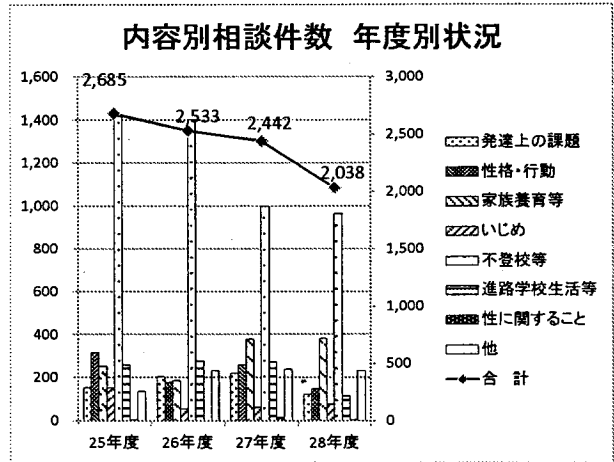
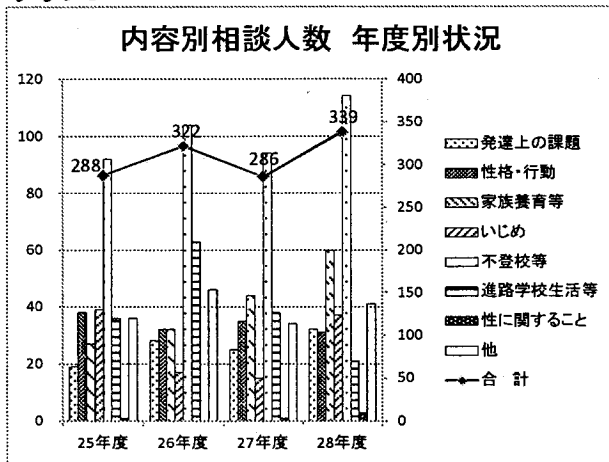


表3

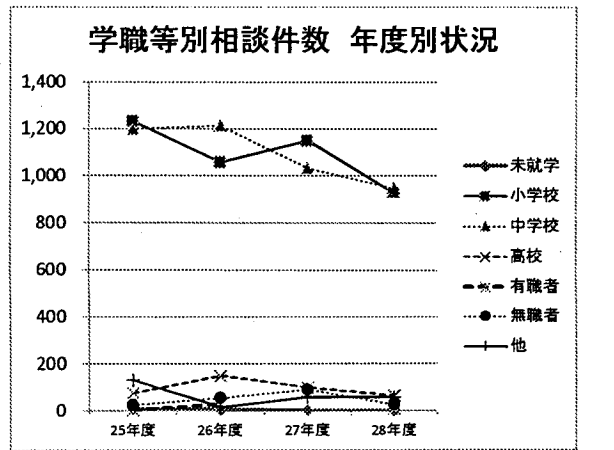
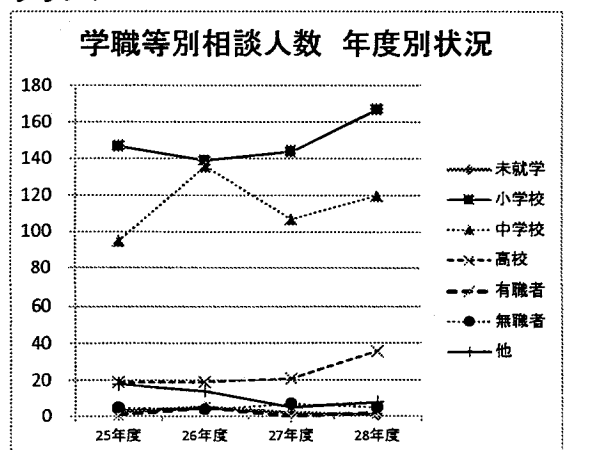
学職等別相談人数 年度別状況

学職等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
未就学	3	5	2	1
小学校	147	139	144	167
中学校	95	136	107	120
高校	19	19	21	36
有職者	1	5		2
無職者	5	4	7	5
他	18	14	5	8
合計	288	322	286	339

学職等別相談件数 年度別状況

学職等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
未就学	9	7	3	1
小学校	1,234	1,058	1,152	929
中学校	1,201	1,214	1,035	948
高校	78	151	101	66
有職者	4	30		9
無職者	26	56	92	27
他	133	17	59	58
合計	2,685	2,533	2,442	2,038

グラフ4



平成 28 年度 研修会等の概要報告

分類	講座名	対 象				実施期日			形 式			内 容			参加者延べ人数
		幼・保	小学校	中学校	市・その他	課業中	夏季中	合計日数	講義	演習・実習	協議	理論	指導法	教材	
教科等	理科・総合等研修会		○	○			2	2	○	○		○	○	○	29
	小学校英語活動研修会		○	○			1	1	○	○		○	○	○	11
	授業力向上研修会		○	○			5	5	○	○		○	○	○	118
	食育研修会		○	○			2	2	○	○		○	○	○	60
	授業づくり研修会	○	○	○	○	4		4	○	○		○	○	○	93
	教科等研修会		○	○	○	4	1	5	○	○	○	○	○	○	117
教育課題	危機管理対応能力育成研修会	○	○	○	○	2	2	4	○	○		○	○		166
	人権教育研修会		○	○	○	1		1	○			○			26
	コンピュータ研修会		○	○			2	2	○	○		○	○	○	27
	鎌倉郷土研究研修会	○	○	○	○		4	4	○	○		○		○	91
	教育課程研修会	○	○	○	○	12		12	○	○		○	○		367
	児童生徒理解研修会	○	○	○	○	4	1	5	○	○		○	○		166
その他	教育研究発表会	○	○	○			1	1			○	○	○		60
	幼児教育研究協議会	○	○		○	1		1	○		○	○	○	○	184
	幼・こ・保・小連携研修会	○	○	○	○	2		2			○		○	○	54
	幼児教育研修会	○	○	○	○	1		1	○	○			○	○	49
	研究員研究授業研修会		○	○		4		4			○		○	○	13
	臨時的任用職員研修会		○	○			1	1	○		○	○	○		21
	事故・不祥事防止研修会		○	○			1	1	○	○		○			30
	教育課題研修会		○	○			1	1	○			○			37
合計（総研修日数）					35	24	59	合計（延べ参加者数）					1719		

研究研修事業

(1) 研究事業

□ 教育研究員委嘱・研究発表会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	4月15日(金) 市役所 402会議室	教育センター教育研究員委嘱 教育研究員研究会	教育研究員 32名
1	8月19日(金) 深沢学習センター	子どもたち・教師に還る(校内)研究を目指して 玉川大学 教師教育リサーチセンター 教職サポートルーム 客員教授 林 紋子 氏	小 34名 中 23名 幼・保・こ 3名 計 60名

□ 幼児教育研究協議会

回	期日・会場	内 容	参加者
1	1月18日(水) 鎌倉生涯学習センター	テーマに関する実践報告と研究協議(幼・こ・保・小連携) テーマ:「豊かな感性を育む～生きる喜び・遊ぶ喜び・学ぶ喜び～」	計 184名 小 33名 幼・保・こ 151名

□ 幼・こ・保・小交流事業担当者会

回	期日・会場	内 容	参加者
1	5月6日(金) 鎌倉生涯学習センター	「今年度の幼・こ・保・小交流事業について」	小学校15名 (幼児教育推進担当校長・教頭・小学校交流事業担当)
2	2月24日(金) 鎌倉市役所823会議室	「幼・こ・保・小交流事業の報告とまとめ」	小学校18名 (幼児教育推進担当校長・教頭・小学校交流事業担当)

□ 調査研究会報告

(1) 教育課程研究会(2年計画の1年目)

【研究テーマ】 よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うための『特別の教科 道徳』の指導法について

【内容要旨】 道徳の教科化に向けて、問題解決的な学習・体験的な活動など多様な指導方法について研究した。

【教育研究員(小学校3名 中学校3名 計6名)】

(2) 教育指導研究会(3年計画の2年目)

【研究テーマ】 知識・技能の定着や学習意欲の向上のためのアクティブ・ラーニングについての実践研究

【内容要旨】 学びの質や深まりを重視するために、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的

<p>に学ぶ学習（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）やその指導の方法等を研究した。 【教育研究員（小学校3名 中学校3名 計6名）】</p>
<p>(3) 児童生徒理解研究会（2年計画の2年目） 【研究テーマ】 「人間関係づくり」の手法についての実践研究 【内容要旨】 「人間関係づくり」の手法を学級経営・教科学習等に意図的に取り入れる実践を行い、その効果について、検証した。 【教育研究員（小学校3名 中学校3名 計6名）】</p>
<p>(4) 教育資料研究会（3年計画の1年目） 【研究テーマ】 『かまくら子ども風土記』（第14版）の発行 【内容要旨】 「かまくら子ども風土記」（第13版）の記述内容の見直し・写真資料の更新等を行った。 【教育研究員（小学校1名 中学校2名 有識者 1名 計4名）】</p>
<p>(5) 情報教育研究会（2年計画の1年目） 【研究テーマ】 情報教育機器を効果的に活用した授業づくりの研究 【内容要旨】 コンピュータ活用能力の育成と、効果的な情報教育機器の活用を目指した授業づくりを研究した。 【教育研究員（小学校3名 中学校1名 計4名）】</p>
<p>(6) 幼児教育研究会（2年計画の2年目） 【研究テーマ】 遊びから学びへ～幼・こ・保・小の学びの連続性を探る～ 【内容要旨】 小一プロブレム解消に向けて、幼・こ・保での生活や遊びを小学校の学習へどう接続していくのか円滑な接続に向けての具体実践事例を探った。 【教育研究員（幼稚園2名 保育園2名 小学校2名 計6名）】</p>

□ 研究会実施日・回数

教育課程研究会	4/15, 5/27, 6/21, 8/19, 8/19, 9/15, 10/17, 11/4, 12/28, 1/19, 2/2, 3/6, 3/21	13回
教育指導研究会	4/15, 5/30, 6/16, 6/30, 7/8, 7/25, 8/2, 8/19, 9/28, 10/24, 11/18, 12/21, 2/17, 3/17	14回
児童生徒理解研究会	4/15, 5/26, 6/14, 7/20, 8/19, 9/29, 10/19, 11/30, 12/8, 1/19, 2/23, 3/22	12回
教育資料研究会	4/15, 5/23, 6/24, 7/15, 8/19, 8/29, 9/29, 10/31, 11/24, 12/20, 1/20, 2/24, 3/22	13回
情報教育研究会	4/15, 5/2, 6/16, 7/28, 8/19, 9/16, 10/24, 11/29, 12/20, 1/23, 2/21, 3/2	12回
幼児教育研究会	4/15, 5/30, 6/13, 7/21, 8/8, 8/19, 9/14, 10/28, 12/27, 2/14, 3/7, 3/21	12回

(2) 研修事業

ア 実践的な指導力向上のための研修

【市教育センター企画研修会】

□ 危機管理対応能力育成研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	4月12日(火) 鎌倉市福祉センター	宿泊学習・校外学習等における緊急時への対応について Part.2 藤沢市民病院 救命救急センター センター長 阿南 英明 氏	27名 (小18,中9)
2	5月31日(火) 鎌倉生涯学習センター第5集会室	保護者との関係づくりにおいて大切にしたいこと 首都大学東京 准教授 長沼 葉月 氏	31名 (小19,中7,他5)
回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
3	7月25日(月) 市役所402会議室	ネット依存の予防及び対応について 久里浜医療センター 臨床心理士 三原 聡子 氏	33名 (小24,中9)

□ 理科・総合等研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	7月22日(金) 県立青少年センター	理科室の使い方と安全指導(午前) 小学校の理科の授業づくり(午後) 県立青少年センター 科学支援課所員	小学校22名 (午前の部 小12) (午後の部 小10)
2	8月29日(月) 岩瀬中・現地	地層観察の初歩～地層・鉱物・岩石の観察～ 鎌倉市立岩瀬中学校 教諭 若松 舞 氏	小学校7名

□ 小学校英語活動研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	8月3日(水) 市役所402会議室	教科化をスムーズに迎えるために ～これからの小学校外国語活動～ 東京学芸大学教授 粕谷 恭子 氏	11名 (小10,中1)

□ 食育研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	7月28日(金) 坂ノ下海岸等	体験活動：活きたタコの後処理とその加工 講 話：講義題「鎌倉の漁業の仕組み」 鎌倉漁業協同組合長 原 実 氏	30名 (小26,中1,幼2, その他1)
2	8月1日(月) 東京ガス(株) 横浜ショールーム	エコクッキング～環境に配慮した食教育～ 東京ガス(株)スタッフ	30名 (小26,中2,幼2)

□ 人権教育研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	10月5日(水) 市役所402会議室	LGBTってなんだろう？ ～互いの違いを受け入れあえる社会を目指して～ 特定非営利活動法人 ReBit 三戸 花菜子 氏 他	26名 (小17,中8,他1)

□ コンピュータ研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	8月5日(木) 玉縄中学校	Word & Excel 目指せ初級から中級へスキルアップ! 鎌倉市立第二小学校教頭 中村 浩 氏	17名 (小15, 中2)
2	8月26日(金) 第一小学校 音楽室	ICTを活用した授業づくり 東芝情報機器株式会社 吉田 敬 氏, 風間 正勝 氏 エプソン株式会社 酒井 茂 氏 鎌倉市教育委員会指導主事	小学校 10名

□ 鎌倉郷土研究研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	7月21日(木) 第二小・永福寺跡	永福寺跡を訪ねて ～源頼朝が抱いた天下草創への願いに思いを馳せて～ 元文化財課主事 玉林 美男 氏	19名 (小16, 中3)
2	7月25日(月) 円覚寺	鎌倉の寺社・文化財の歴史と文化を知る 鎌倉市教育委員 朝比奈 恵温 氏	28名 (小26, 中2)
3	7月26日(火) 鎌倉彫資料館	鎌倉彫資料館見学、鎌倉彫実演解説及び体験 鎌倉彫資料館 館長 鎌倉彫協同組合 理事 柏木 豊司 氏	30名 (午前の部 小12, 中3) (午後の部 小15)
4	8月9日(火) 県立金沢文庫～称名寺 ～龍華寺～瀬戸神社	金沢北条氏と鎌倉幕府 NPO 法人鎌倉ガイド協会 岡田 厚 氏	14名 (小11, 中3)

□ 授業力向上研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	7月27日(水) 稲村ヶ崎小学校	技の段階的な取組を工夫した器械運動について 神奈川県立体育センター 指導主事 木村 典子 氏 堀内 利紀 氏	小学校 20名
2	8月4日(木) 市役所講堂	実践力を高めるための学級経営の改善と危機管理 元鎌倉市立小学校長 金子 俊明 氏	16名 (小13, 中3)
3	8月8日(月) 市役所 402 会議室	「特別の教科 道徳」の指導法について 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部 総括研究官 西野 真由美 氏	35名 (小32, 中3)
4	8月12日(金) 鎌木清方記念美術館	美術鑑賞と日本画制作ワークショップ 鎌倉市鎌木清方記念美術館学芸員 今西 彩子 氏	21名 (午前の部 小 11, 中1) (午後の部 小9)
5	8月18日(木) 御成小学校	指導に活かす書写学習の基本と授業の進め方 鎌倉市教育指導員 兵藤 嘉子 氏	小学校 26名

□ 幼・こ・保・小連携研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	6月14日(火) 鎌倉しろやま幼稚園	幼稚園参観・協議 協議：「幼・こ・保と小との連携のあり方」他	26名 (小15, 幼・保9, 他2)
2	8月30日(木) 寺分保育園	保育園参観・協議 協議：「幼・こ・保と小との連携のあり方」他	台風接近のため実施せず。
3	11月24日(木) 西鎌倉小学校	小学校参観・協議 協議：「幼・こ・保と小との連携のあり方」他	28名 (小22, 幼・こ・保6)

□ 幼児教育研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	5月25日(水) 鎌倉消防署	紙の工作 紙ってすごい 久保田 雅人 氏	49名 (小17, 幼・保31, 他1)

□ 臨時的任用職員研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	7月27日(水) 市役所 822AB 会議室	高め合う学級づくりと学級経営～授業で活かせるゲームやワークショップ～ 湘南三浦教育事務所教育指導員 佐野 和信 氏 グループ協議「1学期をふり返って」 鎌倉市教育指導員 兵藤 嘉子 氏・井上 恵子 氏他	21名 (小14, 中7)

□ 事故・不祥事防止研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	8月3日(水) 市役所 822AB 会議室	支え合う仲間・職場による事故・不祥事の防止 県教育委員会教職員人事課専任主幹 北村 一将 氏	30名 (小19, 中11)

□ 教育課題研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	8月5日(金) 市役所 822AB 会議室	色のバリアフリーの正しい理解 北鎌倉眼科 院長(医師) 西尾 佳晃 氏	37名 (小26, 中9, 他2)

【学校支援研修会】

□ 授業づくり研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	5月18日(水) 大船小学校	伝え合う力を高めるための「聞くこと」の授業づくり～指導と評価～ 東京学芸大学附属竹早小学校 教諭 茅野 政徳 氏	30名 (小27, 中1, 他2)
2	6月1日(水) 関谷小学校	学び合う力を育むために(「読むこと」の領域) 東京学芸大学附属竹早小学校 教諭 茅野 政徳 氏	23名 (小22, 他1)
3	1月23日(月) 玉縄小学校	「自分の思いをもち、進んで表現する子」を求めて 元鎌倉市立小学校長 宮澤 憲雄 氏	小学校 24名
4	2月13日(月) 稲村ヶ崎小学校	よさを認め合い、生かし合い、ともに活動する児童の育成～きこう、はなそう、つなげよう～ 東京学芸大学附属竹早小学校 教諭 茅野 政徳 氏	小学校 16名

□ 教育課程研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	4月25日(月) 山崎小学校	『カリキュラムマネジメント』と『アクティブ・ラーニング』を大切にした授業づくり 横浜国立大学教育人間科学部 非常勤講師 白井 達夫 氏	31名 (小30,中1)
2	5月20日(金) 岩瀬中学校	他との関わりを生かした授業づくり アクティブ・ラーニング 早稲田大学教育 総合科学学術院 教授 小林 宏己氏	36名 (中33,他3)
3	6月7日(火) 手広中学校	生徒が主体的に学習する授業改善の工夫 東京都北区教育委員会教育振興部教育指導課 教育アドバイザー 中尾 豊三郎 氏	25名 (小1,中22,他2)
4	9月1日(木) 腰越中学校	生徒が互いに学び合おうとする集団を目指して ～何を、どう学び合うことがよいか～ 早稲田大学教育 総合科学学術院 教授 小林 宏己氏	23名 (小5,中18)
5	9月7日(水) 第一中学校	学習指導要領の改訂が意味するもの 横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏	中学校 23名
6	9月8日(木) 深沢中学校	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業展開について 横浜国立大学教育人間科学部 学校教育課程 国語・日本語教育講座 教授 高木 まさき 氏	52名 (小26,中26)
7	10月5日(水) 七里ガ浜小学校	話し合い活動を授業の中心に 早稲田大学教育 総合科学学術院 教授 小林 宏己氏	19名 (小18,中1)
8	11月30日(水) 西鎌倉小学校	伝え合い高め合う子どもを育てる授業の展開及び授業研究のあり方 早稲田大学教育 総合科学学術院 教授 小林 宏己氏	29名 (小27,中2)
9	12月12日(月) 深沢小学校	国語科教育の「聞くこと」についての指導と評価について 十文字学園女子大学児童教育学科 教授 富山 哲也氏	41名 (小38,中3)
10	1月24日(火) 大船中学校	『聴く力』『話す力』を伸ばす学校での取組 ～学力向上を目指して～ 横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏	39名 (小2,中37)
11	2月22日(水) 西鎌倉小学校	伝えあい高めあう子どもを育てる授業の展開及び授業研究のあり方 早稲田大学教育 総合科学学術院 教授 小林 宏己 氏	30名 (小29,中1)
12	2月28日(火) 腰越小学校	考える楽しさを味わう授業づくり 横浜国立大学教育人間科学部非常勤講師 白井 達夫 氏	19名 (小18,中1)

□ 児童生徒理解研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	6月15日(水) 第一小学校	学習・生活面で困り感を持つ児童の理解を深め、具体的な支援の手立てを探る リソース・ルーム「枝」代表 伊藤 逞子 氏	小学校 29名
2	6月17日(金) 富士塚小学校	発達障害のある子への関わり方や互いを認め合えるような集団作り 早稲田大学大学院教職研究科 教授 高橋 あつ子 氏	24名 (小21, 中2, 他1)
3	6月23日(木) 玉縄中学校	社会性を育てるスキル教育 東京理科大学特任教授 清水 井一 氏	35名 (小1, 中34)
4	6月30日(木) 今泉小学校	いじめに対する危機意識と適切な対応について 神奈川県立総合教育センター 教職キャリア課 指導主事 梶原 三恵子 氏	小学校 21名
5	8月26日(金) 小坂小学校	気になる子へのかかわり方 明星大学 教授 星山 麻木 氏	57名 (小52, 中2, その他3)

□ 教科等研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
1	7月19日(火) 御成小学校	話し合い活動(学級会)における話し合いのまとめ方等について 横浜市教育委員会事務局教職員人事部教職員育成課 アイ・カレッジ指導教官 上妻 優美子 氏	小学校 28名
2	8月2日(火) 第二中学校	道徳の教科化に向けての新たな授業の在り方 川崎市立中原中学校 総括教諭 南雲 和子 氏	21名 (小3, 中18)
3	10月26日(水) 御成小学校	よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる学級活動とは 横浜市教育委員会事務局教職員人事部教職員育成課 アイ・カレッジ指導教官 上妻 優美子 氏	小学校 25名
4	11月16日(水) 第二小学校	生活経験から実感しにくい算数の指導について 大東文化大学 准教授 渡辺 恵津子 氏	小学校 21名
5	1月12日(木) 植木小学校	理科の授業に活かす科学実験 くりの木倶楽部 代表 岩立 直子 氏	21名 (小20, 中1)

□ 危機管理対応能力育成研修会

回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
4	8月25日(木) 御成小学校	保護者対応について ～気持ちに寄り添う～ 神奈川県教育委員会スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー 増田 裕 氏	75名 (小52, 中20, 他3)

イ 基本研修

研修会名等	回	期日・会場	テーマ・講師等	備考
初任者研修会	1	4月 8日(金) 午後 鎌倉生涯学習 センター第5集会室	オリエンテーション・教職基礎研修 鎌倉市教育委員会教育長 他	初任者研修 対象者
	2	8月 23日(火) 全日 大船学習セン ター第1集会室	鎌倉市教育センター教育相談員 滝田 衛 氏 元鎌倉市立小学校長 岩田 満 氏 鎌倉市教育委員会指導主事 他	
	3	11月 29日(火) 午後 鎌倉生涯学習 センター第5集会室	テーマ「保護者とのよりよい関係づくりを目指して」 帝京平成大学 名誉教授 中谷 三保子 氏	
	4	2月 14日(火) 午後 鎌倉生涯学習 センター第5集会室	研修の総括 鎌倉市教育委員会教育長 他	
	年度内		研究授業(指導主事が参観)、校内授業研究会、 他校訪問 を各学校で実施	
1年経験者 研修会	1	2月 1日(水) 午後 402 会議室	協議会及びインクルーシブ教育に関する研修	1年経験者 研修対象者
	2	年度内	研究授業(指導主事が参観)の実施 指定された研修会から1講座受講	
	3			
2年経験者 研修会	1	年度内	市教育センター学校支援研修会から2講座受 講(研修レポートの提出)	2年経験者 研修対象者
	2			

ウ 鎌倉市教育指導員の派遣

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	25	24	25	20		22	24	20	21	24	23		205
指導 対象者 <延べ人数>	4	57	61	40		51	59	47	46	51	42		416
(校数)	(25)	(23)	(23)	(19)		(22)	(22)	(20)	(20)	(22)	(23)		(196)

※教育指導員 3名 (月10日 勤務 2名・月4日 勤務 1名)

※4月は、鎌倉市教育指導員の派遣事業周知のために小学校16校・中学校9校を訪問

※8月は夏季研修会の運營業務及び同行

近代史資料担当の事業（平成28年度）

昭和52年、鎌倉の近代史（幕末以降～昭和40年代位まで）に関する資料を収集・整理・保存・提供するため、中央図書館内に「鎌倉近代史資料収集室」を開設し、嘱託として郷土史家を配置して事業を開始しました。その後名称を「近代史資料室」に変更し、郷土史家・事務補助嘱託員およびアルバイトで事業を継続してきました。

平成24年度、それまで市役所総務課で担当していた「市史編さんに関する事務」を図書館が補助執行することになり、歴史的公文書に関する業務なども行うことになりました。それに伴い中央図書館内の組織変更をし、「近代史資料担当」を設け、兼務ではありますが図書館職員（担当係長）を配置しました。

平成24・25年度に総務課と協議しながら選別基準とガイドラインを作成、26年度から歴史的公文書選別の試行をして、28年度は試行3年目となりました。また、平成28年度から歴史的公文書選別のための専門的な非常勤嘱託員を一名（月10日）配置しました。

図書館が収集、保存する資料は図書資料が主ですが、近代史資料担当では、図書資料だけではなく、近代以降の鎌倉に関するさまざまな文献資料（古文書・古地図・写真等）・文物（高札・マンホールの蓋・かるた・テレホンカード等）を収集・保存しています。

また、聞き取り調査等を実施し、鎌倉の近代に関する情報も収集しています。これらの資料や情報をもとに調査・研究を進め、報告書としてまとめたり、中央図書館3階展示コーナーや鎌倉駅地下道ギャラリー50等で展示したりして皆さんに公開しています。

【実績】

- 「鎌倉アカデミア創立70周年記念祭」開催 平成28年6月4日（土）光明寺

- 各行政センターで「今昔写真展」を開催

平成28年2月17日（水）～22日（月）、鎌倉生涯学習センターで開催した郷土資料展示の一部（各行政センターの地域の写真）を抜粋して展示した。

深沢行政センター：平成28年6月22日～7月8日 深沢地域17枚

大船行政センター：平成28年8月5日～31日 大船地域20枚

玉縄行政センター：平成28年9月21日～10月3日 玉縄地域15枚

腰越行政センター：平成29年3月13日～3月31日 腰越地域35枚

- 植木金矢氏寄贈の絵画等を展示

植木在住の画家、植木金矢氏より寄贈された絵画「鎌倉の花火」他、氏の関係資料を展示した。

中央図書館一階展示コーナー：平成28年7月16日（土）～8月31日（水）

同時開催：「鎌倉の海」写真展示

- 地下道ギャラリー50全面で鈴木正一郎写真展の抜粋展示

平成28年8月2日（火）～15日（月）

鎌倉地域の写真58点を展示

- 『鎌倉震災手記－98人が綴る鎌倉の関東大震災記録－』刊行

平成29年3月刊行 A4版 本編213頁 庁内印刷 表紙レザック 43部

■ 「歴史的公文書保存のための選別」 試行3年目

収集箱数：141箱

上記資料を確認し歴史的公文書であると判断したもの：99箱

【平成28年度 写真等資料提供】 実績80件

《展示》

- ・ 高野台自治会「写真展 六国見山の今昔Ⅱ」
- ・ 鎌倉市川喜多映画記念館「鎌倉アカデミア創立70周年記念“影絵劇と映画”を楽しむ-劇団かかし座との3日間」「鎌倉映画地図」
- ・ 三浦半島活断層調査会「震災写真展」
- ・ 観音ミュージアム特別展「長谷寺のちょっと昔」
- ・ NPOルートカルチャー 「鎌倉 海のカーニバル」展示
- ・ 徳島県阿南市市民部文化振興課「北條民雄パネル展」

《書籍・雑誌・新聞等掲載》

- ・ 朝日新聞横浜総局「鎌倉アカデミア70年についての記事」
- ・ 湘南経済新聞
- ・ かまくら春秋社「月刊かまくら春秋」連載コーナー“写真で見る鎌倉今昔”
- ・ 鎌倉朝日新聞社「鎌倉朝日」6月号、12月号
- ・ 岩波書店『夏目漱石』十川信介著 岩波新書
- ・ 歴史探訪社『鎌倉千年の歩み』浅田勁著
- ・ ジオ神奈川『関東大震災—未公開空撮写真—』蟹江康光編著
- ・ 島本千也『鎌倉海浜ホテル』
- ・ 島本千也「鎌倉朝日」記事
- ・ 鎌倉歯科医師会『80周年記念誌』及び記念式典にてスライド上映
- ・ 柙出版「湘南スタイルマガジン」(仮) 湘南クラシック
- ・ 藤原書店『地域に根ざす民衆文化の創造—「常民大学」の総合的研究』北田耕也監修 飯塚哲子著「三枝博音「鎌倉アカデミア」の発足と展開そして今」
- ・ 柙出版「湘南スタイルマガジン」68号「湘南クラシック」

《テレビ番組等》

- ・ TBS「健康カプセル！ゲンキの時間」
- ・ BS-TBS「新・日本道紀行」
- ・ テレビ朝日「じゅん散歩」
- ・ テレビ朝日「ワイドスクランブル」
- ・ テレビ朝日「スーパーJチャンネル」
- ・ J:COM「輝くご当地大使！」

- ・ J : COM「ご当地サタデー」
- ・ テレビ朝日「あなたは今幸せですか」
- ・ フジテレビ「みんなのニュース」
- ・ ウェブニュース「はまれぼ.com」
- ・ テレビ東京「出役！アド街ック天国」2017/1/7放送予定「鎌倉・大船」
- ・ テレビ朝日「路線バスで寄り道の旅」2017/1/2放送予定「大船・鎌倉」
- ・ 朝日放送「大阪人の謎カル“チャー”調べてみたらスゴかった“ウォ”！第5弾」
- ・ NHK「うまいっ！」
- ・ BSジャパン「ワタシが日本に住む理由」

《その他資料提供》

- ・ 鎌倉市役所拠点整備部再開発課「鎌倉駅西口整備」の参考資料
- ・ 鎌倉市役所観光商工課「四季のみどころ」
- ・ 鎌倉市役所都市調整課「地下道ギャラリー展示」
- ・ 鎌倉市役所秘書広報課「広報かまくら」
- ・ 鎌倉市役所秘書広報課「クレア・パリ・ニューズレター」
- ・ 鎌倉市役所歴史まちづくり推進担当「11/15放映フジTVインターネット専用チャンネル「ハウドウキョク×GOGO日本遺産コーナー」
- ・ 鎌倉市役所歴史まちづくり推進担当「日本遺産ブックレット」
- ・ 鎌倉市役所歴史まちづくり推進担当「(仮)鎌倉歴史文化交流センター内での展示」
- ・ 鎌倉市役所東京オリンピック・パラリンピック担当「外国語版ホームページ」
- ・ 鎌倉市都市調整課ほか「古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法」施行後50年記念誌
- ・ 鎌倉市川喜多映画記念館特別企画「ミュージアム×建築めぐりのススメ」
- ・ 鎌倉市立第一中学校PTA広報委員会広報誌「まつかぜ」
- ・ (株)山手総合計画研究所「鎌倉市旧図書館耐震診断報告書」
- ・ 長尾資料館・横浜旧軍無線通信資料館ホームページ
- ・ 七里ガ浜自治会「自治会広報誌「ハイビスカス」」
- ・ 北鎌倉湧水ネットワークホームページ
- ・ そば峰本製作映像作品「鎌倉の祈り」
- ・ 有限会社北辰測量設計
- ・ カメレオン「フリーペーパーKAMAKURA」
- ・ 梶原山町内会「創立50周年記念誌」
- ・ 大船地域づくり会議のホームページ「わがまち大船ニュース」
- ・ みずほ銀行大船支店「支店内写真展示」
- ・ みずほ信託銀行大船支店「支店内写真展示」
- ・ 劇団劇作家より戯曲作成資料として使用
- ・ 映画「鎌倉アカデミア青の時代」製作委員会、同映画に使用

<鎌倉市図書館振興基金>

平成 23 年 10 月に鎌倉市図書館基金設置条例が施行され、積立が開始された。

1 条例の趣旨

鎌倉市の郷土資料をはじめとする貴重な図書館資料の収集、保存及び保管並びにそれに要する図書館設備の充実その他の図書館事業の振興を図るための財源に充てるため設置された。

2 基金の周知方法

鎌倉市の図書館ホームページに図書館振興基金について載せるとともに、図書館内に基金についての案内を掲示している。また、図書館に関連する講演会等でも、基金について説明し、ご理解、ご協力をいただいている。

3 寄附の方法

各図書館に設置している募金箱に直接、お金を入れていただくか、各図書館で配布している振込用紙でお金を振り込んでいただく。

4 積立の推移

(1) 平成 23 年度

120,391円

(2) 平成 24 年度

678,190円 (寄附金 678,170円 利子 20円)

(3) 平成 25 年度

1,175,391円 (寄附金 1,174,732円 利子 659円)

(4) 平成 26 年度

341,005円 (寄附金 337,159円 利子 3,846円)

(5) 平成 27 年度

1,087,308円 (寄附金 1,086,924円 利子 384円)

(6) 平成 28 年度

2,192,434円 (寄附金 2,191,820円 利子 614円)

平成 29 年 3 月末基金現在額 4,937,215円

平成 27 年度に鎌倉市観光鳥瞰図 (657,504円) 購入で取り崩し。

<人口段階別図書館状況一覧>

*人口 15 万人以上 20 万人未満の 47 市での比較

- 1 司書・司書補の資格を有する職員数（平成 28 年 4 月 1 日現在）
鎌倉市は 19 人で、47 市中 5 番目である。（平均 9 人）
- 2 蔵書冊数（平成 28 年 3 月 31 日現在）
鎌倉市は 553,000 冊で、47 市中 23 番目である。（平均 599,739 冊）
- 3 個人貸出数（平成 27 年度実績）
鎌倉市は 1,412,000 点で、47 市中 10 番目である。（平均 1,066,826 点）
- 4 文献複写枚数（平成 27 年度実績）
鎌倉市は 56,000 枚で、47 市中 3 番目である。（平均 22,000 枚）
- 5 資料費予算額（平成 28 年度）
鎌倉市は 26,887,000 円で、47 市中 37 番目である。（平均 40,426,000 円）

*参考資料 日本の図書館 統計と名簿 2016（公益社団法人 日本図書館協会発行）

<学校貸出の利用状況>

1 学習パック

調べ学習に役立つ本等をテーマごとにセットにしたもの

- ・日光、鎌倉、環境問題など

*延べ件数 平成27年度47件⇒平成28年度53件(12%増)

2 子ども読書パック

対象学年ごとに絵本や読み物をセットにしたもの

- ・朝の読書用など

*延べ件数 平成27年度110件⇒平成28年度169件(53%増)

3 学校貸出

学校で希望したテーマに沿って本をそろえるもの

- ・小学校～現代に活躍した人、浄水場、動物の出てくる読み物など
- 中学校～老人福祉、富士山など

*延べ件数 平成27年度90件⇒平成28年度88件(2%減)

成人を対象にした講座等 平成29年3月31日現在

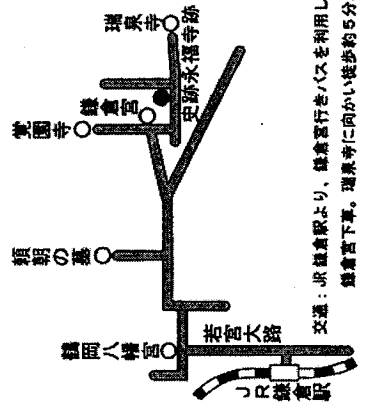
開催日	イベント名	回数	場所	内容説明	参加人数
月2回(8月は休み)	本の修理	17	中央図書館 多目的室	本の修理講座経験者による本の修理ボランティア	143
5月7日	国宝館スペシャル学芸員がずばり解説!「禅の心と私たち—總持寺の至宝—」	1	中央図書館 多目的室	国宝館開催されている特別展について、学芸員が映像を交え解説。 ナビゲーター:阿部能久(鎌倉国宝館学芸員)	48
6月25日	かまくら学府「鎌倉の外貿易港六浦とその周辺」	1	中央図書館 多目的室	外貿港としての六浦の役割、江ノ島鎌倉六浦金沢八景をつなぐ江戸時代の観光ルートとしてのにぎわい等、様々な視点から考察。 講師:小林照夫氏(関東学院大学名誉教授)	55
9月4日	暮らしのお役立ち講座@としょかん「認知症を知ってささえる・消費生活トラブルを防ぐ」	1	玉縄学習センター	認知症と消費生活について保健師・消費生活相談員が解説。 協力:市民健康課・鎌倉市消費生活センター	11
10月20日	「図書館の本が甦(よみがえ)る」ワークショップ 読書記録帳作り	1	中央図書館 多目的室	ファンタスティック☆ライブラリー 簡単な製本として、読書記録帳の作成と壊れた本を修理するワークショップ。	15
10月20日	「図書館の本が甦(よみがえ)る」ワークショップ 本の修理	1	中央図書館 多目的室		20
10月22日	鎌倉の別荘地時代研究成果発表会「沖守固は鎌倉別荘地の開祖(開拓者)か?」	1	中央図書館 多目的室	ファンタスティック☆ライブラリー 鎌倉の地を別荘地として開拓した、沖守固についての研究発表。	36
10月22日	かまくら女性史の会研究発表会「対話する資料」	1	中央図書館 多目的室	ファンタスティック☆ライブラリー かまくら女性史の会のメンバーによる、時代を超えて古い資料と対話する考え方についての講演。	31
10月23日	「江ノ電風土記」—16ミリ映写会&トークの会—	1	腰越学習センター	ファンタスティック☆ライブラリー 16ミリフィルム「江ノ電風土記」の上映と、江ノ島電鉄社員及び江ノ電ファン倶楽部元代表によるトークショー。 ジオラマ観覧は577人	74
10月27日	視覚障がい者と一緒に考えるバリアフリー～お手伝いしましょうか?から始めてみよう～講演と体験	1	深沢学習センター	ファンタスティック☆ライブラリー 福祉相談員による体験型の講演会。 視覚に障がいがある方についての理解と具体的な支援について確認。	46
11月5日	鎌倉の近現代史資料について講演会とワークショップ	1	中央図書館 多目的室	ファンタスティック☆ライブラリー 講演「地域学の確立と近現代史資料の役割」 ワークショップ「どうするの?鎌倉の近現代史資料」～近現代資料館・文学館・学習交流館設置をめざして～	55

12月9日	暮らしのお役立ち講座@としょかん「消費生活トラブルを予防」	1	深沢学習センター	消費生活トラブルについて行政書士が解説。 講師:早乙女和男氏(行政書士 神奈川県行政書士会鎌倉支部所属) 協力:神奈川県行政書士会	11
1月28日	外交資料から読み解く「杉原千畝 六千人の命のビザ」	1	中央図書館多目的室	講師:白石仁章氏(外務省外交史料館) 没後30年となる鎌倉ゆかりの外交官杉原千畝について、インテリジェンス・オフィサーとしての業績を外交史料から読み解く。	45
2月26日	川喜多アワー「日本人が見てきたヨーロッパ映画の系譜」	1	中央図書館多目的室	共催:鎌倉市川喜多映画記念館 鎌倉市川喜多映画記念館で開催中の「ヨーロッパ映画紀行」の見どころを解説。	27
3月25日	サイエンスカフェ「歴史に消えた鎌倉たたら製鉄―鎌倉高校に聞く!たたら製鉄の謎を追う」	1	腰越行政センター	協力:神奈川県立鎌倉高校 鎌倉で衰退した“たたら製鉄”の原因を研究してきた鎌倉高校科学研究会の活動及び成果の報告と参加者との質疑応答。	57

永福寺略年表

- 文治五年 (1189)**
7月19日 頼朝、奥州藤原氏と戦うために鎌倉を出発する。
- 12月9日 頼朝、奥州平泉で見た諸堂に感懐し、永福寺建立を決める。
- 建久二年 (1191)**
2月15日 頼朝、永福寺を建てる場所を決めるため、大層崎辺を探る。
- 建久三年 (1192)**
1月21日 頼朝、二階堂建設現場で土工事を見る。
- 8月27日 頼朝、庭造りの専門家、静玄を京都から招き、庭石の配置について相談する。
- 9月11日 静玄、庭の池に石をならべ、頼朝はここの様子を見学する。
- 10月29日 二階堂の扉と仏背後の壁面が完成する。奥州毛越寺の金堂（円蔵寺）の壁面を模す。
- 11月13日 頼朝、庭石の置き方に満足せずやり直させる。
- 11月25日 二階堂完成。導師は三井寺の公頭。
- 建久四年 (1193)**
11月27日 阿弥陀堂完成。導師は前権僧正眞円。
- 建久五年 (1194)**
12月26日 新造薬師堂完成。導師は前権僧正勝賢。
- 正治元年 (1199)**
正月13日 頼朝、58才で没する。
- 9月23日 頼朝、永福寺で齋齋を行う。
- 正治二年 (1200)**
閏2月29日 頼朝、釣殿で遊ぶ。
- 建暦元年 (1211)**
4月29日 実朝、時鳥の声を聞くために訪れるが聞けず空しく帰る。
- 建保二年 (1214)**
3月9日 実朝、永福寺で桜の花見。
- 建保五年 (1217)**
12月25日 実朝、永福寺僧坊で終夜歌会を行う。

- 寛喜元年 (1229)**
3月15日 頼朝、花見。
- 10月26日 頼朝、蹴鞠、歌会を行う。
- 貞永元年 (1232)**
11月29日 頼朝、雪見、釣殿で和歌会を行う。
- 寛元三年 (1245)**
10月12日 頼朝、如法経を永福寺奥山に納める。
- 宝治元年 (1247)**
6月5日 三浦の乱。三浦光村、永福寺惣門の内側に陣をまえる。
- 建長三年 (1251)**
3月10日 頼朝、永福寺で花見。
- 文応元年 (1260)**
2月18日 宗尊親王、桜の花を見る。
- 弘安三年 (1280)**
10月28日 鎌倉大火で、二階堂焼失。
- 延慶三年 (1310)**
11月6日 浜辺の火の手で二階堂、大門、鐘楼焼け落ちる。
- 元弘三年 (1333)**
5月 北条一族滅亡後、千寿王が別当坊に滞在。
- 応永十二年 (1405)**
12月17日 永福寺炎上する。



交通：JR鎌倉駅より、鎌倉駅行きバスを利用し鎌倉下車、瑞泉寺に向かい徒歩約5分。

国指定史跡 永福寺跡

1. 建立の目的

永福寺は、源頼朝が文治5年(1189)に奥州平泉を攻めた後、戦いで亡くなった数萬の將士の鎮魂のために建てた寺院です。頼朝は、平泉で毛越寺や中尊寺を見て、永福寺の建立を思いついたとされています。

2. 境内

頼朝が征夷大将軍に任命された建久3年(1192)に中心の二階堂が完成しました。この堂の名は、現在の地名ともなっています。

建久5年(1194)までに、二階堂の両脇の阿弥陀堂、薬師堂が完成します。この三つの堂を中心に惣門、南門、釣殿、多宝塔、鐘楼、僧坊などの建物があつたとされ、当時の旅日記などの文獻には「その姿形は極楽の様子をそのまま表したようだ」と形容されています。二階堂の本尊は釈迦如来と考えられ、阿弥陀堂の阿弥陀如来、薬師堂の薬師如来と併せて三尊を祀る寺院でした。

頼朝の没後、頼朝、実朝、頼朝以下歴代の将軍たちは、境内で華やかな行事(蹴鞠、酒宴、花見、雪見、歌会等)を行うようになり、永福寺は幕府の迎賓館としても使われていくようになります。

鎌倉時代中期には大きな修理が行われ、鎌倉時代後期には二度にわたる火災に遭い、消失、再建を繰り返しました。応永12年(1405)12月の火災では主な建物が焼け落ち、その後しばらくして記録が途絶えてしまいます。この火災の後には再建されることがなく、荒廃してしまつたと考えられます。

3. 整備事業

当時の絵図などがなく、堂の規模や配置などは分かっていますが、昭和58年～平成8年にかけて、中心域約15,800㎡の発掘調査が行われ、中心の二階堂、阿弥陀堂、薬師堂のほか、樹廊、翼廊、釣殿、鐘、庭園の規模や配置が明らかになりました。この成果から、永福寺は全国的に見ても有数の規模を持つ、当時の代表的な寺院であったことが分かりました。

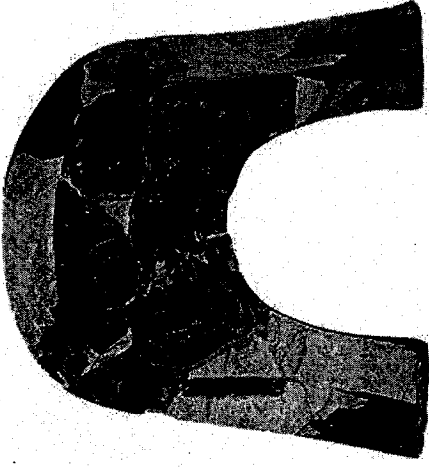
鎌倉市では、史跡指定地の公有地化を進めるとともに、平成19年からは、調査成果を基にした建物の基礎(基礎)と庭園の復元など、永福寺跡の環境整備事業を実施してきました。

建物跡の表示

頼朝や政子らが踏みしめた当時の地面の上に厚さ60cmの盛土をして遺跡を保護しながら、同じ位置に二階堂、阿弥陀堂、薬師堂の基礎を創建当時と同じ木製で再現しています。それぞれの堂を結ぶ廊下や釣殿は礎石を設置して平面の形を示しています。使用している木材、石材は調査で発見された材質と同じものを新たに設置しています。

庭園の整備

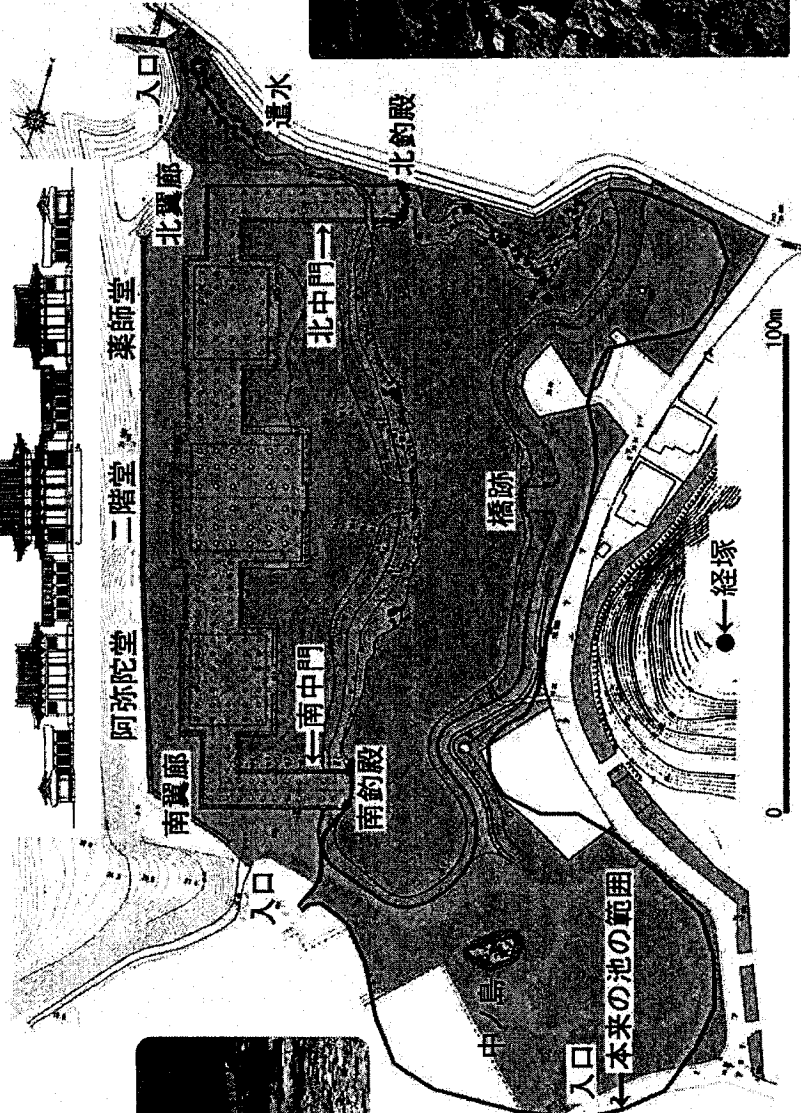
池も30cmかさ上げをして、鎌倉時代の池を保護しながら再現しています。水際は浜砂利を敷き詰めて海浜の様子を復元し、礎石はできる限り本物を露出展示しています。本来の池はさらに東の道路側へ広がる事が分かっていますが、復元ができないため、暫定的に板柵の護岸で池を区切っています。



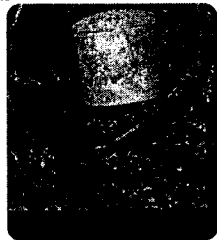
出土した鬼瓦

発掘調査の成果と整備の状況

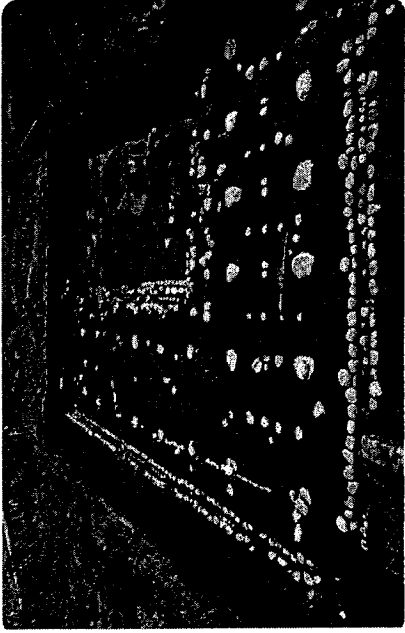
<建物の推定復元図>



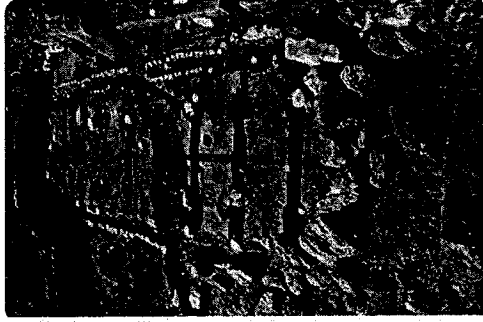
埋め戻されている中ノ島



経塚で見えられた銅製経筒



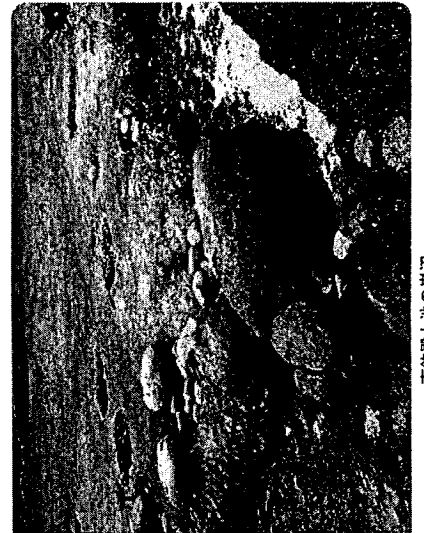
北翼廊の調査



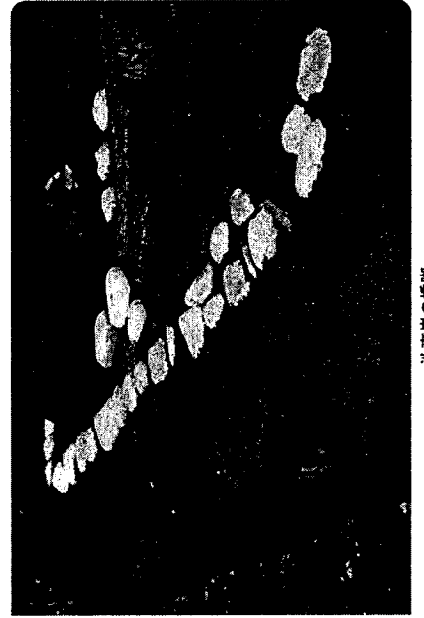
北釣殿と遣水の調査



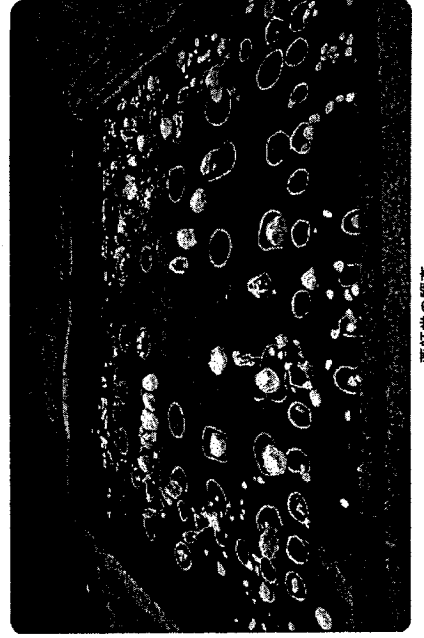
遣水の流路の調査



南釣殿と池の岸辺



池東岸の橋脚



薬師堂の調査

史跡買収予定

史跡の公有地化については、史跡の保護、整備等の活用の予定、土地所有者の申出の状況などを勘案して買収を進めており、平成28年度の実績及び29年度の予定は次のとおりとなっている。

年度	史跡名	町名	地番	地目	地積(m ²)	所有者
28	鶴岡八幡宮境内	雪ノ下二丁目	36番2	畑	717.97m ²	法人
			37番2	畑	711.46m ²	法人
29	鶴岡八幡宮境内	雪ノ下二丁目	37番1	宅地	517.66m ²	法人
			38番	畑	250.42m ²	法人
	朝夷奈切通	十二所	315番2	山林	243.90m ²	法人
			315番3	雑種地	0.65m ²	法人
	名越切通	大町五丁目	2034番2	山林	3,662.62m ²	個人

No. 国宝館管理運営事業 概要

◎事業実施状況

(1) 国宝館協議会 年度内2回開催 (平成28年11月23日、平成29年3月8日)

委員定数6名

任期2年 (平成27年11月15日～平成29年11月14日)

会長 八幡義信 (元鎌倉女子大学教授)

副会長 錦昭江 (鎌倉女学院中・高等学校校長)

大三輪龍哉 (宗教法人浄光明寺代表役員)

副島弘道 (大正大学教授)

吉田茂穂 (宗教法人鶴岡八幡宮宮司)

吉田架子 (画家)

(2) 展覧会

平常展 (平成27年度鎌倉市新指定文化財)	(4月 2日～ 4月14日)	11日間
禅の心とかたち—總持寺の至宝—	(4月23日～ 5月29日)	33日間
常盤山文庫名品展2016	(6月 7日～ 7月18日)	37日間
仏像入門—ミホトケをヒモトケ!—	(7月23日～ 9月 4日)	39日間
国宝 鶴岡八幡宮古神宝	(9月 9日～10月16日)	33日間
鎌倉meets東大寺—武家の古都と南都をつなぐ悠久の絆—	(10月22日～12月 4日)	38日間
北斎と肉筆浮世絵—氏家浮世絵コレクションの至宝—	(1月 4日～ 2月 5日)	29日間
ひな人形—おとめのいのり—	(2月14日～ 3月12日)	24日間
平常展 (中世鎌倉寺社絵図を中心に)	(3月18日～ 3月31日)	12日間

(3) 主な調査研究

・円覚寺所蔵青磁香炉等 調査・撮影	7月
・鎌倉市教育委員会所蔵渥美焼壺・鉢等 調査・撮影	10月
・建長寺所蔵和漢年代記等 調査・撮影	12月
・鎌倉国宝館所蔵及び寄託雛人形等 調査・撮影	2月
・個人所蔵木造聖徳太子立像等 調査・撮影	3月

(4) 主な収蔵品貸出

・市文・若宮八幡神像 (館蔵)	鹿児島県歴史資料センター黎明館	9月
・重文・宝冠釈迦三尊像 (建長寺)	九州国立博物館	9月
・国宝・蘭溪道隆像, 国宝・蘭溪道隆墨蹟「法語規則」(建長寺) 他	東京国立博物館	10月
・養儼院手箱 (円覚寺)	九州国立博物館	11月

- ・重文・被帽地藏菩薩像（円覚寺） 根津美術館 2月
- ・市文・僧形八幡神像（浄光明寺） 奈良国立博物館 3月
- ・国宝・清拙正澄墨蹟，国宝・馮子振墨蹟（常盤山文庫）他 東京国立博物館 3月

(5) 出版

- ・特別展図録『「東大寺サミット in かまくら」開催記念特別展 鎌倉 meets 東大寺 武家の古都と南都をつなぐ悠久の絆』刊行
- ・『中世鎌倉寺社絵図の世界』刊行
- ・『鎌倉国宝館直伝！ 仏像のキホン』（第四版）刊行

(6) 普及活動

(講座)

- 特別展「禅の心とかたち～總持寺の至宝～」関連講座
「禅を知る、禅を感じる－曹洞禅と臨済禅－」
5月15日（日）開催 於・建長寺
講師：花和浩明氏（總持寺布教教化部参禅室長），永井宗直氏（建長寺元教学部長），
岩橋春樹氏（總持寺宝蔵館館長）
受講者数：120名
- 特別展「仏像入門～ミホトケをヒモトケ！～」関連講座
8月21日（日）開催 於・鎌倉国宝館
講師：石井千紘（鎌倉国宝館学芸嘱託員）
受講者数：39名
- 鎌倉国宝館出張講座
 - ・1月22日（日）開催 於・玉縄学習センター
講師：石井千紘（鎌倉国宝館学芸嘱託員）「鎌倉の仏像基礎知識」
受講者数：26名
 - ・2月12日（日）開催 於・玉縄学習センター
講師：浪川幹夫（鎌倉国宝館学芸員）「鎌倉寺社絵図の世界」
受講者数：27名
 - ・2月26日（日）開催 於・深沢学習センター
講師：阿部能久（鎌倉国宝館担当係長）「鎌倉幕府と東大寺再興」
受講者数：23名
 - ・3月5日（日）開催 於・深沢学習センター
講師：内藤浩之（鎌倉国宝館副館長），夏坂冴子（鎌倉国宝館臨時的任用職員）
「鎌倉の宋元風絵画と彫刻」
受講者数：20名

(イベント)

○夏休みこども仏像教室

特別展「仏像入門～ミホトケをヒモトケ!～」関連イベント

8月8日(月)開催 於・鎌倉国宝館

講師：石井千紘(鎌倉国宝館学芸嘱託員)

参加者数：23名

○国宝館でひなまつり～オリジナル紙雛を作ろう!

特別展「ひな人形」関連イベント

2月26日(日)開催 於・鎌倉国宝館

講師：石井千紘(鎌倉国宝館学芸嘱託員)

参加者数：16名

○列品解説

- ・毎週土曜日午後2時開催 実施回数46回

○学校教育連携

- ・インターンシップ対応

鎌倉女学院高等学校1年生(8月9～10, 12日、4名)

- ・特別解説等(実施18回、参加延人数658名)

暁星小学校(4月、120名)

小田原市立千代中学校(6月、18名)

逗子市教育研究所(7月、10名)

福島県いわき市小学校6年生(8月、42名)

清泉小学校3年(9月、90名)

鎌倉女子大初等部3年(9月、66名)

湘南三浦教育事務所(9月、10名)

東星学園高等学校(10月、5名)

埼玉県久喜市立小学校6年(10月、42名)

箱根中学校2年(10月、5名)

横浜シュタナー学園中学校(11月、13名)

神奈川県教職員研修社会科部会(11月、9名)

稲村ガ崎小学校6年生(11月、41名)

玉縄小学校(1月、74名)

小坂小学校3年生(2月、97名)

東京都世田谷区・科学技術学園高等学校(2月、10名)

座間市教育研究所(3月、3名)

慶應義塾志木高等学校(3月、3名)

○「鎌倉の名宝」(広報かまくらに掲載)

- 4月1日号 No. 98・観音菩薩立像(大船観音寺)
 6月1日号 No. 99・青磁貼花龍牡丹文大香炉(建長寺)
 10月1日号 No.100・籬菊螺鈿蒔絵硯箱(鶴岡八幡宮)

○中央図書館との連携事業

- ・特別展「禅の心とかたち～總持寺の至宝～」関連
 公開講座「禅の心とかたち～總持寺の至宝～」於・鎌倉市中央図書館
 5月7日(土)開催 講師：阿部能久(鎌倉国宝館担当係長)
 受講者数：42名

○神奈川県立歴史博物館との共催事業

- 公開講座「若手学芸員による『愛しの仏像』トーク！」
 3月19日(日)開催 於・鎌倉国宝館
 講師：神野佑太(神奈川県立歴史博物館学芸員)
 石井千紘(鎌倉国宝館学芸嘱託員)
 受講者数：39名

◎収蔵状況

1,072件 5,329点

種別	国宝	重文	重美	県文	市文	未指定	計
寄託品	7件 45点	90件 886点	12件 12点	20件 79点	78件 521点	560件 1,314点	766件 2,856点
館蔵品		1件 2点	1件 1点	3件 16点	11件 232点	291件 2,223点	306件 2,473点
計	7件 45点	91件 888点	13件 13点	23件 95点	89件 753点	851件 3,537点	1,072件 5,329点

※重文＝重要文化財、重美＝重要美術品、県文＝県指定文化財、市文＝市指定文化財

※収蔵品のうち、重美と市文を兼ねる作品が2件2点(寄託品1件1点、館蔵品1件1点)あり、両方で数える。指定種別の総計は該当数の和となるが、寄託品・館蔵品・収蔵品の総計は重複を除外した数とする。

※館蔵品の統計は平成21年度新統計による。

※平成28年度収蔵品：3件243点増

寄贈		版本鎌倉勝概図	1枚
寄託	個人蔵	木造聖徳太子立像	1軀
寄託	個人蔵	村木家文書	241通

◎月別入館者動向

月	開館 日数	入場者 総数	1日 平均	団 体		個 人											無料	観覧料計	
				一般	小中	一 般						小・中							
						一般	環境	割引	県利 用券	市助 成券	特別 割引	前売 (入場 数)	小中	環境	割引	県利 用券			市助 成券
日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	枚	人	人	人	人	人	人	人	円
4月	18	2,941	163	45	116	2,025	13	5	11	11	0	0	304	6	0	0	0	405	834,600
5月	26	5,297	204	131	0	3,212	14	104	3	6	0	0	596	8	0	0	1	1,222	1,836,600
6月	21	2,964	141	110	89	1,672	8	0	0	2	0	0	746	0	0	0	0	337	863,500
7月	24	2,982	124	83	62	1,970	11	0	5	0	0	0	392	0	0	0	0	459	903,350
8月	27	3,556	132	56	33	2,567	11	0	4	4	0	0	252	1	0	0	0	628	1,104,500
9月	23	3,509	153	40	0	2,367	26	0	1	0	0	0	440	0	0	0	0	635	1,056,300
10月	22	3,738	170	150	40	2,421	19	14	3	4	0	0	427	3	0	1	0	656	1,276,200
11月	26	4,828	186	166	144	2,966	18	96	1	6	0	0	560	21	5	0	0	845	2,059,800
12月	4	1,043	261	67	0	635	6	15	3	1	0	0	41	0	0	0	1	274	437,050
1月	24	5,811	242	20	0	4,329	13	0	6	4	0	0	475	0	0	0	1	963	1,841,350
2月	18	3,426	190	0	0	2,295	13	0	4	6	0	0	209	1	0	0	0	898	968,500
3月	23	4,866	212	25	0	3,765	26	0	8	14	0	0	182	1	0	0	0	845	1,415,350
計	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	枚	人	人	人	人	人	人	人	円
	256	44,961	176	893	484	30,224	178	234	49	58	0	0	4,624	41	5	1	3	8,167	14,597,100

※「環境」：環境手形持参者割引、「県利用券」：県職員割引、「市助成券」：市町村職員割引

◎ 特別展入館者数

特別展名称	開催期間	開催日数	総入館者	一日平均
禅の心とかたち～總持寺の至宝～	4月23日～5月29日	33日間	6,502人	197人
常盤山文庫名品展 2016	6月7日～7月18日	37日間	4,988人	135人
仏像入門～ミホトケをヒモトケ!～	7月23日～9月4日	39日間	5,111人	131人
国宝鶴岡八幡宮古神宝	9月9日～10月16日	33日間	5,262人	159人
鎌倉 meets 東大寺 -武家の古都と南都をつなぐ悠久の絆-	10月22日～12月4日	38日間	7,234人	190人
北斎と肉筆浮世絵 -氏家浮世絵コレクションの至宝-	1月4日～2月5日	29日間	7,187人	248人
ひな人形-おとめのいのり-	2月14日～3月12日	24日間	5,160人	215人

平和都市宣言

われわれは、

日本国憲法を貫く平和精神に基いて、

核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、

全世界の人々と相協力してその実現を期する。

多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、

ここに永久に平和都市であることを宣言する。

昭和33年8月10日 鎌倉市

鎌倉市民憲章

制定 昭和48年11月3日

前文

鎌倉は、海と山の美しい自然環境とゆたかな歴史的遺産をもつ古都であり、わたくしたち市民のふるさとです。すでに平和都市であることを宣言したわたくしたちは、平和を信条とし、世界の国々との友好に努めるとともに、わたくしたちの鎌倉がその風格を保ち、さらに高度の文化都市として発展することを願い、ここに市民憲章を定めます。

本文

- 1 わたくしたちは、お互いの友愛と連帯意識を深め、すすんで市政に参加し、住民自治を確立します。
- 1 わたくしたちは、健康でゆたかな市民生活をより向上させるため、教育・文化・福祉の充実に努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉の歴史的遺産と自然及び生活環境を破壊から守り、責任をもってこれを後世に伝えます。
- 1 わたくしたちは、各地域それぞれの特性を生かし、調和と活力のあるまちづくりに努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉が世界の鎌倉であることを誇りとし、訪れる人々に良識と善意をもって接します。

鎌倉市教育委員会 教育部 教育総務課

〒248-0012 鎌倉市御成町 12 番 18 号

TEL 0467-23-3000 内線 2454 FAX 0467-24-5569

MAIL kyouiku@city.kamakura.kanagawa.jp